

米に関するマンスリーレポート (令和2年9月号)



「米に関するマンスリーレポート（マンレポ）」とは

⇒ 米に関する価格や需給の動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表しています。需要に応じた生産・円滑な米取引に役立てていただくことを目的としています。

【利用上の注意】

1. 原則として毎月中旬公表。公表日の2営業日前までに入手可能なデータを反映しています。
2. 内容については、必要に応じて項目の追加・削除などの変更を行うことがあります。

データはどう読み解けばいいの？

そんなときは、「ここが分からない！マンレポ」をチェック！

https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/manrepo_kaiset.html

目次 (令和2年9月号)

I 作柄概況

令和2年産水稻の8月15日現在における作柄概況

作柄1

II 米の民間在庫情報

各産地の米の民間在庫数量は、年間玄米仕入量500^ト以上の出荷段階（全農、JA等の出荷業者）の在庫量と年間玄米仕入数量4,000^ト以上の販売段階（米卸等の販売業者の在庫量）を対象に調査し、その合計（出荷段階＋販売段階）の数値も合わせて公表しています。

集荷数量が概ね確定する1月以降の在庫数量は、販売に伴って減少していくので、その変化を見ることにより、販売状況を読み取ることができます。

1 民間在庫の推移

農林水産省(政策統括官)HP <https://www.maff.go.jp/i/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.htm>

(1) 全国段階の民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫1

Excel

(2) 産地別民間在庫の状況(前年同期差)

在庫4

Excel

(3) 令和元・2年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報)

在庫5

Excel

III 米の契約・販売情報

産地別事前契約数量は、米の収穫が始まる前に、契約書や確認書等によりあらかじめ取引されることが決定している数量で、年間の玄米の仕入量が5,000トン以上の全国出荷団体等からの報告を産地別に取りまとめたものです。例えば、契約数量に占める事前契約数量の比率が高い産地では、取引数量の多くを収穫前に契約し、あらかじめ販路を確保しているものといえ、需要に応じた生産に向けた取組が進められていることがうかがえます。

1 事前契約の取組状況

農林水産省(政策統括官)HP <https://www.maff.go.jp/i/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.htm>

(1) 近年の事前契約数量の推移(平成26年産～令和2年産)

契約1

(2) 令和2年産米の産地別事前契約の取組状況(令和2年7月末現在)(速報)

契約2

Excel

2 令和元年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和2年7月末現在)(速報)

契約3

Excel

IV 米の価格情報

相対(あいたい)取引価格

米については、全農等の出荷業者と卸売業者等間で、年間を通じて長期的な取引を行う「相対取引」が行われています。このため、農林水産省では、年間玄米仕入量5,000^ト以上の全国出荷団体等と年間玄米直接販売数量5,000^ト以上の卸売業者を対象に、指標となる各産地の作付上位2～3銘柄を調査対象産地品種銘柄(令和元産米:118産地品種銘柄)として、相対取引価格・数量を毎月調査し、米の取引価格の代表となる指標の一つとして公表しています。

1 相対取引価格・数量

農林水産省(政策統括官)HP <https://www.maff.go.jp/i/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.htm>

(1) 年産別の相対取引価格

価格1

(2) 相対取引価格・数量(令和元年産米、産地品種銘柄別、令和2年7月分)(速報)

価格2

Excel

(3) 相対取引価格(月別・年産平均価格)(令和元年産米、産地品種銘柄別)(速報)

価格4

Excel

2 スポット価格の状況(日本コメ市場株式会社)

日本コメ市場株式会社 HP <https://www.nihonkomeshiyujy.co.jp/>

価格6

3 米の先物取引価格の推移

農林水産省(食料産業局)HP <https://www.maff.go.jp/i/shokusan/svoutori/index.html>

価格7

4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和2年8月分)

米穀安定供給確保支援機構HP <https://www.komenet.jp/>

価格8

V 消費の動向

- | | |
|--|-----|
| 1 米の消費動向(米穀機構による調査) | 消費1 |
| 米穀安定供給確保支援機構HP https://www.komenet.jp/ | |
| 2 購入数量・支出金額の推移(家計調査) | 消費4 |
| 3 消費者物価指数の推移 | 消費6 |
| 4 小売物価統計の推移 | 消費7 |
| 総務省統計局HP https://www.stat.go.jp/data/index.html | |
| 5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向 | 消費8 |
| 6 小売価格の推移(POSデータ) | 消費9 |

VI 輸出入の動向

- | | |
|--|-----|
| 1 MA米の輸入数量(輸入先国別及び輸入方式別) | 輸入1 |
| 2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果(令和2年度) | 輸入2 |
| 3 SBS輸入米の見積合わせ結果(令和元年度) | 輸入3 |
| 4 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果(令和2年度) | 輸入4 |
| 農林水産省(政策統括官)HP https://www.maff.go.jp/i/seisan/boueki/nyusatu/index.html | |
| 5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について | 輸出1 |
| (1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移 | 輸出2 |
| (2) 2019年の主な増加要因 | 輸出3 |
| (3) 米菓の輸出数量及び金額の推移 | 輸出4 |
| (4) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移 | 輸出5 |
| (5) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移 | 輸出6 |
| 6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について | 輸出7 |

VII 主食用米以外の情報

- | | |
|---------------------------------|-----|
| 1 加工用米及び新規需要米等の生産状況 | |
| (1) 加工用米の生産量 | 加工1 |
| (2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移 | 加工1 |
| (3) 令和元年度 都道府県別の取組計画認定状況 | 加工2 |
| 2 米加工品の状況 | |
| (1) 主な米加工品の生産状況 | 加工3 |
| (2) 30米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況(推計) | 加工4 |
| (3) 加工原材料用米穀の使用状況(推計)の推移 | 加工5 |
| 3 酒造好適米の需給状況 | |
| (1) 日本酒の出荷状況 | 酒造1 |
| (2) 日本酒原料米の使用状況 | 酒造1 |
| (3) 酒造好適米の生産量 | 酒造2 |
| (4) 酒造好適米の需要量 | 酒造2 |

「米に関するマンスリーレポート」とは、米に関する価格や需給の動向に係るデータ・情報をより多くの方に、かつ、より有効に活用していただけるよう、情報の整理方法、提供方法等を見直しました。

また、当省ホームページでの公表に際しては、本編・資料編に加え、カテゴリ別にも整理して掲載することにしました。さらに一部データ資料については、エクセルによる提供も開始しましたので、ぜひご活用願います。

飼料用米等の取組計画書等の追加・変更の受け付けを9/18まで再延長しましたので、ご検討願います。

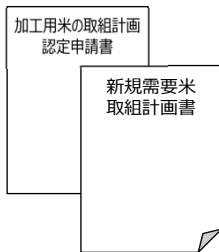
飼料用米等の農業者一覧表の提出期限は10/19まで確保しています。

【事務手続きの流れ】

取組計画書

～9月18日までに提出

追加・変更の受付



「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」
別紙様式第3-2号の1 加工用米の取組計画認定申請書
別紙様式第4-1号 新規需要米取組計画書

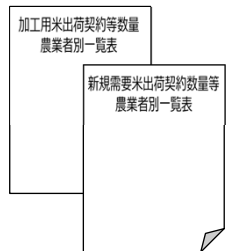
を提出し直す形で、追加・変更を申請

※ 6月30日以降に、加工用米又は新規需要米に新たに取組むこととした場合も、申請可能です。

農業者別一覧表

～10月19日までに提出

（～9月30日までに地域農業再生協議会ごとの生産予定面積を提出）

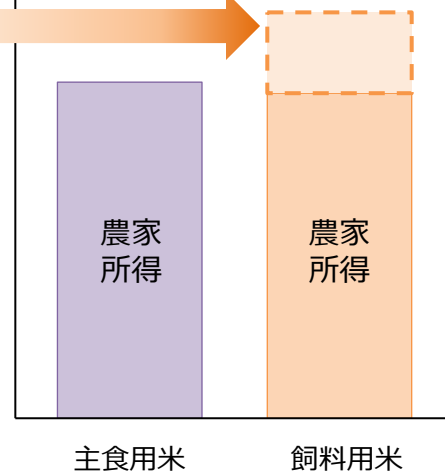


「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」
別紙様式第3-11号 加工用米出荷契約等数量農業者別一覧表
別紙様式第4-2号 新規需要米出荷契約数量等農業者別一覧表

（様式の掲載場所→ <http://www.maff.go.jp/j/seisan/jyukyuu/komeseisaku/index.html>）

主食用米と飼料用米の所得の比較
（10a当たりのイメージ）

県・地域協議会毎に
上乘せメニューを設定



今からでも地域単位で主食用米から飼料用米等へ転換すれば、県への産地交付金の配分が増えます

地域農業再生協議会毎にみて、令和元年度よりも主食用米（酒造好適米を含む）が減少し、

- ① 転換作物※1の面積が拡大した場合に、その面積に応じて1.5万円/10a
- ② 高収益作物等※2の面積が拡大した場合に、その面積に応じて3.0万円/10a。

- ※1 飼料用米、米粉用米、新市場開拓用米、WCS用稲、加工用米、麦、大豆、飼料作物、そば、なたね、高収益作物
- ※2 高収益作物（園芸作物等）、新市場開拓用米、加工用米、飼料用とうもろこし

水田活用の直接支払交付金は、3,050億円の予算を確保しています！

お気軽に、無料電話相談



0120-38-3786

ご注意：携帯電話、PHS、公衆電話及びIP電話など一部の電話ではご利用いただくことができません。また、非通知設定のお電話からはお繋ぎできませんので、お手数ですが番号の前に「186」を押してお掛けください。

受付時間：平日9:00～17:00 自動的にお住まいの地方農政局等に繋がります。

I 作柄概況

令和2年産水稻の8月15日現在における作柄概況

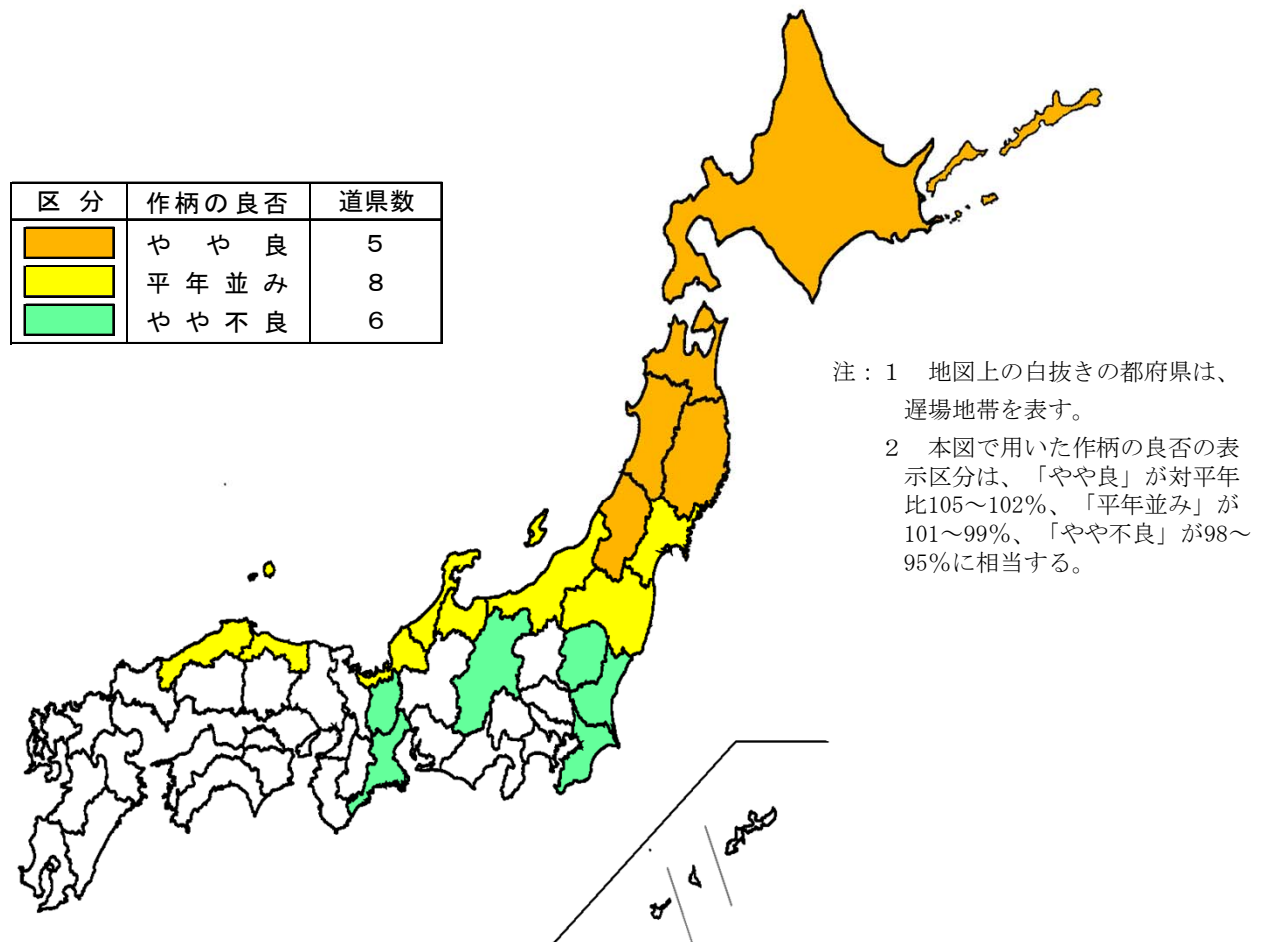
早場地帯の作柄は、北海道及び東北はおおむね「やや良」、
その他の地域は「平年並み」又は「やや不良」の見込み

【調査結果の概要】

東日本を中心とした早場地帯(19道県)の作柄は、北海道及び東北はおおむね「やや良」、その他の地域は「平年並み」又は「やや不良」と見込まれる。

これは、一部地域で7月の低温・日照不足等の影響が見込まれるものの、田植期以降おおむね天候に恵まれたことにより、全もみ数が一部を除き平年並み以上に確保されると見込まれるためである。

図1 早場地帯の作柄の良否



○ 作柄は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測を行った。したがって、今後の気象条件等により作柄は変動することがある。

○ 令和2年産水稻の8月15日現在における作柄概況の本資料は、農林水産省ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/sakumotu/sakkyou_kome/index.html#y2 】

1 令和2年産水稻の都道府県別田植及び出穂の状況(8月15日現在)

都道府県	田植期					出穂期					出穂済面積割合	
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較		始期	最盛期	終期	最盛期の比較		当年値	対平年差
				対平年差	対前年差				対平年差	対前年差		
月日	月日	月日	1日早	並み	月日	月日	月日	1日早	2日遅	%	ポイント	
北海道	5.19	5.23	5.30	1日早	並み	7.25	7.31	8.7	1日早	2日遅	100	0
青森	5.13	5.19	5.28	2日早	1日早	8.2	8.5	8.10	並み	1日遅	100	0
岩手	5.9	5.17	5.26	並み	並み	8.2	8.6	8.10	1日遅	2日遅	100	0
宮城	5.4	5.12	5.24	1日遅	1日遅	8.1	8.6	8.13	5日遅	4日遅	98	△1
秋田	5.13	5.23	5.30	1日遅	1日遅	7.30	8.3	8.9	1日早	1日遅	100	0
山形	5.13	5.19	5.26	並み	1日遅	8.2	8.6	8.14	1日遅	2日遅	97	△2
福島	5.8	5.16	5.26	1日早	並み	8.3	8.9	...	1日遅	並み	93	△3
茨城	4.26	5.7	5.25	1日遅	1日遅	7.22	8.2	8.14	4日遅	1日遅	97	△1
栃木	5.1	5.7	6.15	並み	1日早	7.29	8.4	...	5日遅	2日遅	89	△2
群馬	5.22	6.15	6.28	1日遅	1日遅	8.6	39	△4
埼玉	4.29	5.22	6.27	並み	1日早	7.26	8.12	...	2日遅	並み	61	△3
千葉	4.18	4.28	5.9	並み	1日早	7.10	7.21	8.3	2日早	5日早	100	0
東京都	5.24	6.10	6.24	2日早	1日遅	8.1	8.14	...	並み	1日早	56	△4
神奈川県	5.17	6.2	6.13	並み	1日遅	8.1	8.11	...	1日早	2日早	83	2
新潟	5.4	5.11	5.21	1日早	1日遅	7.25	8.6	8.15	1日遅	3日遅	96	△3
富山	4.30	5.11	5.21	1日早	並み	7.12	8.5	8.15	4日遅	4日遅	98	△2
石川	4.30	5.5	5.23	並み	並み	7.17	7.30	8.6	1日遅	1日遅	100	0
福井	5.2	5.16	5.27	並み	並み	7.15	8.4	8.15	4日遅	2日遅	96	△2
山梨	5.13	5.27	6.17	1日早	2日早	8.6	8.11	...	3日遅	1日遅	70	△8
長野	5.12	5.22	6.2	並み	並み	8.1	8.9	...	3日遅	1日遅	92	△4
岐阜	5.2	5.28	6.11	並み	並み	7.21	47	△2
静岡県	4.28	5.19	6.13	1日早	2日早	7.20	8.7	...	並み	2日早	70	1
愛知県	5.1	5.24	6.10	並み	並み	7.26	42	△2
三重	4.17	4.30	5.19	1日早	1日早	7.14	7.22	8.9	1日早	5日早	98	0
滋賀	5.2	5.11	6.1	2日遅	1日遅	7.27	8.2	...	2日遅	2日遅	94	△1
京都	5.5	5.23	6.4	並み	1日早	7.23	8.2	...	並み	1日遅	82	△2
大阪	5.17	6.8	6.20	並み	並み	8.2	27	0
兵庫	5.12	6.4	6.15	並み	1日遅	7.30	8.13	...	2日遅	2日遅	61	△2
奈良	5.6	6.7	6.14	1日早	1日早	7.31	30	0
和歌山	5.3	6.6	6.20	2日遅	2日遅	7.19	8.6	...	1日早	2日早	82	△2
鳥取	5.5	5.24	6.9	1日早	並み	7.29	8.9	...	3日遅	1日遅	77	△9
島根	5.1	5.12	6.3	3日早	4日早	7.21	8.3	...	4日遅	2日遅	89	△3
岡山	5.12	6.8	6.21	並み	並み	7.31	38	△3
広島	5.4	5.18	6.6	並み	並み	7.24	8.9	...	2日遅	1日遅	71	△2
山口	5.10	6.1	6.22	1日早	並み	7.30	8.12	...	3日遅	3日遅	56	△7
徳島	4.5	4.14	5.2	2日早	1日早	7.6	7.13	7.27	1日早	3日早	100	0
(普通栽培)	4.30	5.21	6.12	2日早	1日早	7.18	7.31	...	並み	並み	86	0
香川	4.27	6.14	6.27	1日早	並み	7.20	42	1
愛媛	4.23	6.2	6.22	並み	1日早	7.17	8.13	...	並み	1日早	58	2
高知	4.3	4.11	4.21	1日早	並み	6.23	7.2	7.19	並み	1日早	100	0
(普通栽培)	5.17	5.25	6.10	1日早	1日早	8.10	28	0
福岡	5.16	6.16	6.28	1日早	1日早	8.2	33	△1
佐賀	5.6	6.20	6.29	並み	並み	7.24	20	△5
長崎	4.20	6.14	6.28	1日早	1日早	7.17	14	0
熊本	4.22	6.14	7.4	1日早	1日早	7.14	24	0
大分	5.15	6.13	6.29	並み	並み	7.29	18	△2
宮崎	3.19	3.25	4.4	1日早	並み	6.19	6.24	6.30	並み	並み	100	0
(普通栽培)	5.29	6.14	6.27	1日早	1日早	4	1
鹿児島	3.17	4.2	4.16	2日早	2日早	6.16	6.26	7.15	並み	並み	100	0
(普通栽培)	6.9	6.20	7.1	1日早	並み	0	0
沖縄	2.5	3.2	3.20	4日早	1日早	4.22	5.21	6.14	1日早	2日遅	100	0

- 注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。
 2 出穂期の始期、最盛期及び終期の欄の「…」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないことを示す。
 3 出穂済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。

2 令和2年産水稻早場地帯の作柄概況(8月15日現在)

区 分	作柄概況 (平年比較)				
	作柄の良否	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否
北 海 道	やや良	やや少ない	やや多い	平年並み	やや良
青 森	やや良	多 い	やや少ない	やや多い	平年並み
岩 手	やや良	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み
宮 城	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
秋 田	やや良	やや多い	やや少ない	やや多い	平年並み
山 形	やや良	多 い	やや少ない	やや多い	平年並み
福 島	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	平年並み
茨 城	やや不良	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
栃 木	やや不良	平年並み	平年並み	平年並み	やや不良
千 葉	やや不良	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良
新 潟	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み
富 山	平年並み	多 い	やや少ない	やや多い	やや不良
石 川	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
福 井	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
長 野	やや不良	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み
三 重	やや不良	少 ない	やや多い	やや少ない	平年並み
滋 賀	やや不良	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み
鳥 取	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み
島 根	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み

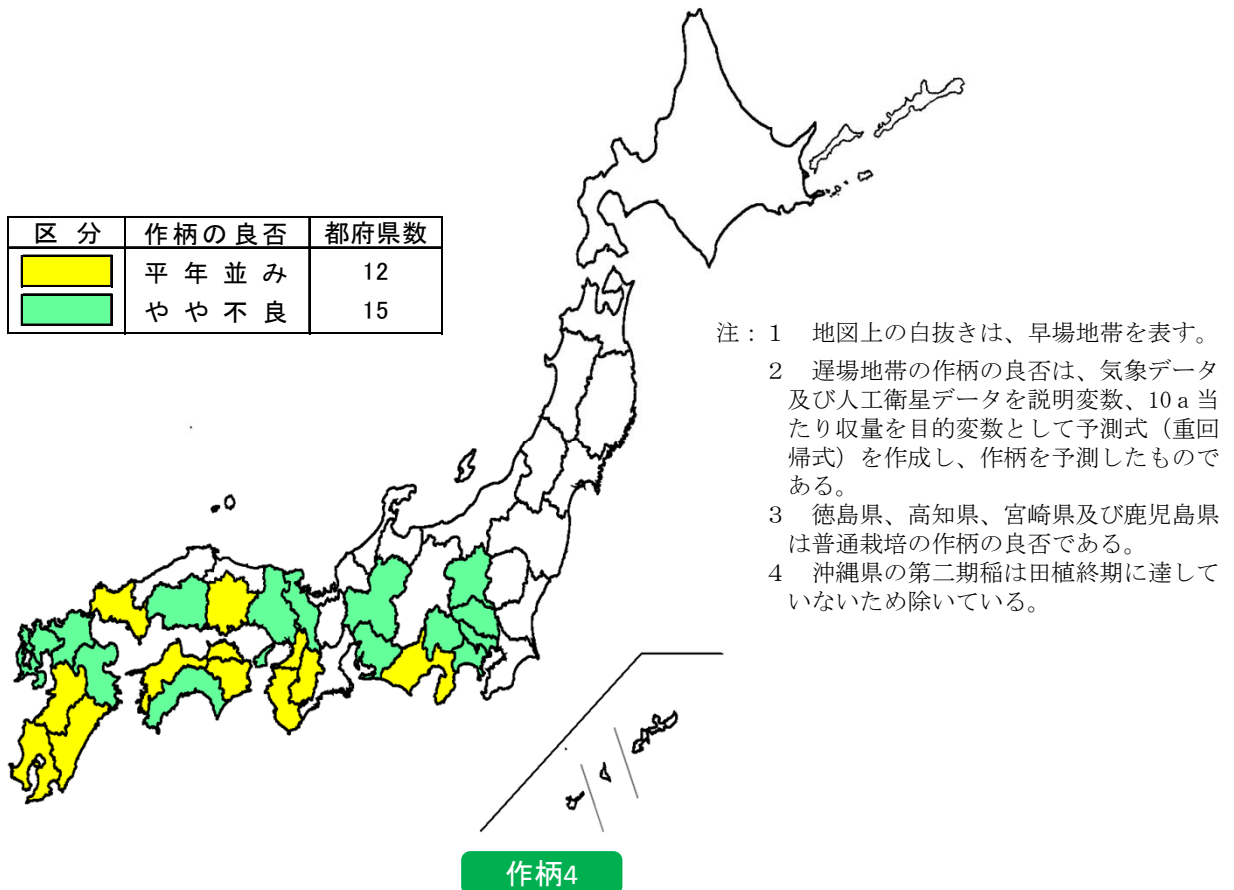
注： 本表における平年比較の表示区分は、「良・多い」が対平年比106%以上、「やや良・やや多い」が105~102%、「平年並み」が101~99%、「やや不良・やや少ない」が98~95%、「不良・少ない」が94%以下に相当する。

3 令和元年産水稲遅場地帯の生育状況(8月15日現在)

区 分	作柄の良否 (平年比較)	区 分	作柄の良否 (平年比較)
群 馬	やや不良	広 島	やや不良
埼 玉	やや不良	山 口	平年並み
東 京	やや不良	徳 島 (普通栽培)	平年並み
神 奈 川	やや不良	香 川	平年並み
山 梨	やや不良	愛 媛	平年並み
岐 阜	やや不良	高 知 (普通栽培)	やや不良
静 岡	平年並み	福 岡	やや不良
愛 知	やや不良	佐 賀	やや不良
京 都	やや不良	長 崎	やや不良
大 阪	平年並み	熊 本	平年並み
兵 庫	やや不良	大 分	やや不良
奈 良	平年並み	宮 崎 (普通栽培)	平年並み
和 歌 山	平年並み	鹿 児 島 (普通栽培)	平年並み
岡 山	平年並み		

- 注：1 遅場地帯の作柄の良否は、気象データ（降水量、気温、日照時間、風速等）及び人工衛星データ（降水量、地表面温度、日射量、植生指数等）を説明変数、10a当たり収量を目的変数として予測式（重回帰式）を作成し、作柄を予測したものである。
- 2 本表における平年比較の表示区分は、「平年並み」が101～99%、「やや不良」が98～95%に相当する。

図2 遅場地帯の生育の良否



4 令和2年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況(8月15日現在)

(1) 10a 当たり予想収量

区 分	10 a 当たり 予想収量 ①	(参考) 農家等が使用している ふるい目幅で選別			(参考)		
		最も 大きい割 合の目幅 ②	10 a 当 たり 予想収量 ③	10 a 当 たり 平 年 収 量 ④	作 況 指 数 ⑤=③/④	作 付 面 積 (子実用、見込み) ⑥	予想収穫量 ⑦=①×⑥
	kg	mm	kg	kg		ha	t
徳 島	454	1.80	443	453	98	4,260	19,300
高 知	453	1.80	442	472	94	6,380	28,900
宮 崎	469	1.80	459	470	98	6,140	28,800
鹿 児 島	443	1.80	431	443	97	4,310	19,100
沖 縄	367	1.80	359	351	102	479	1,760

- 注：1 ①10a 当たり予想収量は、1.70mmのふるい目幅で選別された玄米の重量である。
- 2 ③10a 当たり予想収量、④10a 当たり平年収量及び⑤作況指数については、都道府県ごとに、過去5か年間に農家等が実際に使用したふるい目幅の分布において、最も大きい割合の目幅以上に選別された玄米を基に算出した数値である。
- 3 沖縄県は第一期稲である（(2)の統計表において同じ。）。
- 4 ⑥作付面積（子実用、見込み）は、関係機関等からの情報収集により把握した現時点での見込みの面積（参考値）であり、今後変動する可能性がある。

(2) 作柄概況及び刈取済面積割合

区 分	作柄概況（平年比較）				刈取済面積割合	
	穂数の多少	1穂当たり もみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否	当年値	対平年差
					%	ポイント
徳 島	やや少ない	平年並み	やや少ない	やや良	5	△ 11
高 知	やや少ない	やや多い	やや多い	不良	85	2
宮 崎	やや少ない	やや多い	平年並み	やや不良	97	△ 2
鹿 児 島	やや少ない	平年並み	やや少ない	平年並み	74	△ 13
沖 縄	平年並み	平年並み	やや多い	やや良	100	0

- 注：1 本表における平年比較の表示区分は、「多い・良」が対平年比106%以上、「やや多い・やや良」が105~102%、「平年並み」が101~99%、「やや少ない・やや不良」が98~95%、「少ない・不良」が94%以下に相当する。
- 2 刈取済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。

Ⅱ 米の民間在庫情報

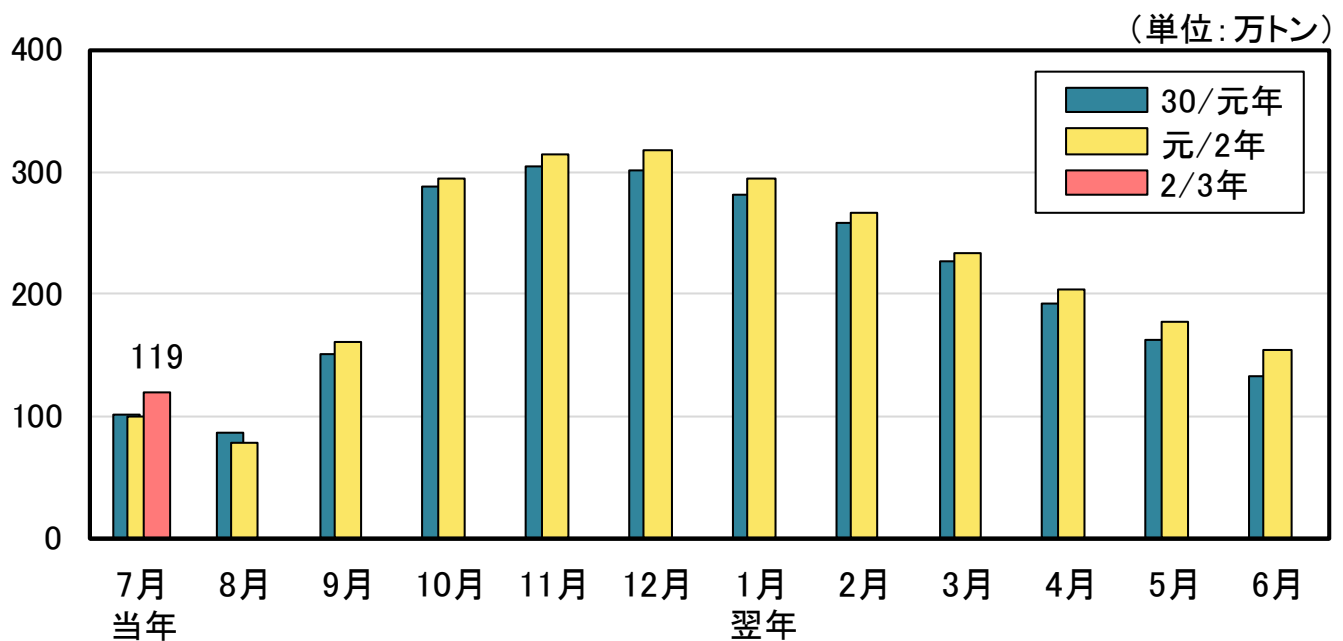
1 民間在庫の推移

(1) 全国段階の民間在庫の推移（うるち米）（速報）

民間在庫の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

- 令和2年7月末の出荷及び販売段階における民間在庫は、対前年同月差+20万トンの119万トンとなっている。また、流通段階別で見ると出荷段階で対前年同月差+10万トン、販売段階で+9万トンとなっている。

※ 産地別の在庫量は、「在庫4」以降を参照。



【全国段階の民間在庫の推移(うるち米)】

【出荷＋販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	(注7) 119	103	198	344	368	365	343	314	280	243	208	168
対前年差	▲1	▲2	▲12	▲24	▲25	▲24	▲15	▲16	▲11	▲15	▲15	▲21
26年産米	0	14	131	285	316	323	306	283	255	220	188	155
1年古米(25年産)	106	78	55	45	37	28	23	19	15	13	11	9
27/28年	130	112	184	321	341	337	314	287	254	218	183	147
対前年差	+11	+9	▲13	▲23	▲27	▲28	▲29	▲26	▲26	▲26	▲24	▲21
27年産米	0	13	112	261	289	297	282	262	233	201	168	135
1年古米(26年産)	119	90	66	52	43	32	25	19	15	12	11	8
28/29年	(注7) 114	93	177	314	338	329	306	282	248	212	177	141
対前年差	▲16	▲19	▲7	▲7	▲3	▲8	▲8	▲6	▲6	▲5	▲7	▲7
28年産米	1	14	122	267	299	299	284	264	233	201	167	135
1年古米(27年産)	104	72	48	38	30	22	16	12	9	7	5	4
29/30年	108	88	155	283	315	311	288	263	234	201	167	134
対前年差	▲6	▲5	▲22	▲30	▲22	▲18	▲18	▲18	▲13	▲11	▲10	▲6
29年産米	1	15	104	241	282	287	270	249	223	192	160	129
1年古米(28年産)	103	71	48	38	29	20	14	11	8	6	5	4
30/元年	102	87	151	288	305	301	282	258	227	192	161	131
対前年差	▲6	▲1	▲4	+5	▲10	▲10	▲6	▲5	▲7	▲9	▲5	▲3
30年産米	1	18	103	248	273	277	263	244	216	184	155	126
1年古米(29年産)	97	67	45	37	28	20	16	12	9	7	5	4
元/2年	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
対前年差	▲3	▲9	+10	+6	+10	+17	+14	+7	+6	+11	+16	+23
元年産米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
2/3年	119											
対前年差	+20											
2年産米	0											
1年古米(元年産)	112											

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

4 期間については、2/3年であれば、令和2年7月～3年6月である。

5 年産の特定できない未検査米等を含んでいるため、当該年産米と1年古米の計と一致しない。

6 26年産米以降は、政府備蓄米を含まない（元年産は、2年1月末在庫公表時点においてそれ以前の月末在庫にも遡及して整理。）。25年産以前の年産は、政府による買入までの間の政府備蓄米を含む。

7 米穀機構の25年産買入数量（35万トン）は、26/27年7月以降の在庫に含まれていない。

【出荷段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	93	78	165	293	316	313	295	270	234	199	170	139
対前年差	+2	+2	▲8	▲16	▲17	▲18	▲11	▲12	▲10	▲18	▲18	▲20
26年産米	0	12	119	261	289	293	280	257	225	192	165	134
1年古米(25年産)	89	64	44	29	22	16	13	10	7	5	4	4
27/28年	105	89	157	278	296	292	273	249	210	178	149	117
対前年差	+12	+11	▲8	▲15	▲20	▲21	▲22	▲22	▲24	▲21	▲22	▲21
27年産米	0	11	100	237	262	267	254	234	202	171	143	112
1年古米(26年産)	101	76	55	39	32	23	18	14	8	6	5	4
28/29年	89	70	145	261	284	276	260	236	201	170	142	112
対前年差	▲16	▲20	▲12	▲17	▲11	▲16	▲13	▲12	▲9	▲7	▲7	▲5
28年産米	1	11	108	239	268	265	252	230	197	167	139	111
1年古米(27年産)	84	56	35	19	14	9	6	5	3	2	2	1
29/30年	84	66	124	231	262	257	240	218	186	158	130	103
対前年差	▲4	▲4	▲21	▲30	▲23	▲19	▲20	▲18	▲14	▲13	▲12	▲9
29年産米	0	11	89	211	247	248	233	213	183	155	128	102
1年古米(28年産)	83	54	34	19	13	9	6	4	3	2	2	1
30/元年	76	63	120	236	252	249	235	215	183	150	127	101
対前年差	▲8	▲3	▲4	+5	▲10	▲8	▲5	▲3	▲4	▲7	▲4	▲2
30年産米	1	14	90	219	240	240	228	211	180	148	125	100
1年古米(29年産)	74	48	30	15	11	7	5	4	3	2	2	1
元/2年	74	55	128	238	257	261	244	219	184	157	138	109
対前年差	▲2	▲8	+8	+2	+5	+13	+9	+4	+1	+7	+11	+8
元年産米	0	7	99	222	246	254	238	214	181	155	136	108
1年古米(30年産)	73	47	28	14	9	6	4	3	2	2	1	1
元/2年	84											
対前年差	+10											
2年産米	0											
1年古米(元年産)	83											

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

【販売段階】

(単位:万玄米トン)

	当年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
26/27年	27	24	32	51	52	52	47	44	46	44	37	30
対前年差	▲3	▲3	▲4	▲8	▲8	▲6	▲4	▲4	▲1	+3	+3	▲1
26年産米	0	3	13	24	26	30	27	26	29	29	24	21
1年古米(25年産)	17	14	11	16	15	12	10	8	8	8	7	5
27/28年	25	23	27	43	45	45	41	39	44	40	35	30
対前年差	▲2	▲2	▲5	▲8	▲7	▲7	▲7	▲5	▲2	▲4	▲3	+0
27年産米	0	2	11	24	27	29	27	28	32	30	25	23
1年古米(26年産)	17	14	10	13	12	9	7	5	7	6	6	4
28/29年	25	24	32	53	53	53	46	45	47	42	35	29
対前年差	+1	+1	+5	+10	+8	+8	+5	+7	+3	+2	+0	▲2
28年産米	0	3	14	28	31	35	31	33	37	34	28	25
1年古米(27年産)	19	16	13	20	17	13	9	7	6	4	3	3
29/30年	23	22	31	52	54	54	48	45	48	44	37	31
対前年差	▲2	▲1	▲1	▲0	+1	+1	+3	▲0	+1	+2	+2	+2
29年産米	0	4	15	30	35	39	37	36	40	37	32	28
1年古米(28年産)	20	16	13	20	16	12	8	7	5	4	3	2
30/元年	26	25	31	53	53	53	47	43	44	42	35	30
対前年差	+3	+2	+0	+0	▲0	▲1	▲1	▲2	▲4	▲2	▲2	▲1
30年産米	0	4	13	29	33	37	34	33	36	36	30	27
1年古米(29年産)	23	19	16	21	17	13	10	8	6	5	4	3
元/2年	26	24	33	56	58	57	51	47	49	46	40	45
対前年差	▲0	▲1	+2	+3	+4	+4	+4	+4	+5	+4	+5	+14
元年産米	0	3	16	32	37	40	38	36	40	38	33	38
1年古米(30年産)	22	18	15	20	15	10	8	6	5	4	3	2
2/3年	35											
対前年差	+9											
2年産米	0											
1年古米(元年産)	+30											

※本表の注意点は前頁の出荷+販売段階の脚注を参照

(2) 産地別民間在庫の状況（前年同期差）

単位：千玄米トン

	30年産			元年産			対前年 同期差 ②-①
	元年 5月	元年 6月	元年 7月 ①	2年 5月	2年 6月	2年 7月 ②	
北海道	176.7	146.1	108.9	178.7	147.4	113.9	+ 5.0
青森	91.3	76.4	59.5	101.1	93.7	76.0	+ 16.5
岩手	75.1	59.8	43.8	89.1	86.5	67.9	+ 24.1
宮城	101.9	87.1	69.2	118.8	112.3	89.2	+ 20.0
秋田	122.6	95.8	66.1	137.3	115.9	83.6	+ 17.5
山形	82.4	69.1	53.7	116.6	102.6	85.4	+ 31.7
福島	118.2	100.1	79.0	139.9	124.3	103.6	+ 24.6
茨城	55.2	43.1	29.8	60.5	50.3	36.0	+ 6.1
栃木	95.6	82.2	65.5	92.3	79.0	65.3	▲ 0.2
群馬	16.4	13.9	10.9	11.0	9.6	8.1	▲ 2.8
埼玉	16.4	12.8	10.3	16.6	13.4	10.4	+ 0.1
千葉	49.1	29.9	19.3	33.7	25.8	15.4	▲ 3.9
東京	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	+ 0.0
神奈川	0.7	0.5	0.4	0.9	0.7	0.6	+ 0.2
山梨	2.8	2.3	1.9	3.2	2.7	2.0	+ 0.2
長野	30.5	24.5	22.4	38.6	39.6	29.6	+ 7.1
静岡	4.4	3.5	2.0	7.4	5.5	3.5	+ 1.5
新潟	108.3	84.9	58.9	138.9	121.5	84.7	+ 25.7
富山	39.8	31.6	21.7	43.2	34.3	25.8	+ 4.2
石川	28.4	23.2	17.1	26.6	22.9	16.6	▲ 0.5
福井	33.3	26.8	19.0	35.2	29.6	22.2	+ 3.3
岐阜	12.4	10.6	8.7	18.8	16.6	14.3	+ 5.6
愛知	18.2	14.2	10.8	19.4	15.7	12.3	+ 1.4
三重	17.1	15.4	10.0	18.3	14.7	9.3	▲ 0.7
滋賀	32.5	26.2	19.1	33.5	25.6	19.1	▲ 0.0
京都	5.7	4.6	3.6	6.6	5.5	4.5	+ 0.9
大阪	0.8	0.5	0.4	1.0	0.7	0.5	+ 0.2
兵庫	23.8	20.0	16.5	26.0	22.0	18.9	+ 2.5
奈良	4.0	3.3	2.4	5.1	4.4	3.4	+ 0.9
和歌山	0.7	0.6	0.5	0.9	0.8	0.6	+ 0.2
鳥取	14.7	11.4	8.3	16.6	13.6	9.3	+ 1.1
島根	15.9	12.8	8.9	13.5	10.1	6.7	▲ 2.2
岡山	28.3	24.4	19.6	33.2	28.0	23.1	+ 3.4
広島	17.9	14.8	11.4	17.8	14.5	11.3	▲ 0.1
山口	19.9	17.0	13.1	17.3	14.2	11.0	▲ 2.1
徳島	4.8	3.6	2.5	5.1	4.0	3.0	+ 0.5
香川	10.9	9.4	7.5	10.1	8.5	6.6	▲ 0.8
愛媛	5.3	4.2	3.1	4.5	3.5	2.7	▲ 0.4
高知	3.8	3.0	2.2	3.8	2.9	2.0	▲ 0.2
福岡	33.2	26.2	18.9	25.8	19.7	13.8	▲ 5.0
佐賀	21.4	16.7	12.2	15.9	13.0	10.6	▲ 1.6
長崎	5.5	4.5	3.3	4.1	3.2	2.4	▲ 0.8
熊本	32.7	27.5	21.5	24.6	19.8	14.1	▲ 7.4
大分	10.6	8.9	7.2	7.0	5.6	4.1	▲ 3.0
宮崎	4.9	3.6	6.0	4.6	3.2	3.6	▲ 2.4
鹿児島	10.6	8.8	7.9	10.1	8.3	6.9	▲ 1.0
沖縄	0.0	0.3	0.6	0.1	0.3	0.6	▲ 0.0
全 国	1,610.0	1,310.0	990.0	1,770.0	1,540.0	1,190.0	+ 200.0

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注：1 水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。

2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。

3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(3) 令和元・2年産の産地別民間在庫の推移（うるち米）（速報）

（北海道から秋田）

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
北海道	出荷+販売段階	113.9					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	109.0					
	出荷段階	86.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	85.0					
	販売段階	27.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	24.0					
青森	出荷+販売段階	76.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	75.1					
	出荷段階	54.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	54.4					
	販売段階	21.5					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	20.7					
岩手	出荷+販売段階	67.9					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	66.3					
	出荷段階	49.2					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	48.6					
	販売段階	18.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	17.7					
宮城	出荷+販売段階	89.2					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	87.3					
	出荷段階	67.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	66.8					
	販売段階	22.3					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	20.5					
秋田	出荷+販売段階	83.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	83.2					
	出荷段階	63.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	62.9					
	販売段階	20.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	20.3					

（山形から埼玉）

（単位：千玄米トン）

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
山形	出荷+販売段階	85.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	83.3					
	出荷段階	72.7					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	72.0					
	販売段階	12.7					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	11.2					
福島	出荷+販売段階	103.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	101.8					
	出荷段階	79.7					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	78.9					
	販売段階	23.9					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	22.9					
茨城	出荷+販売段階	36.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	34.9					
	出荷段階	19.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	19.2					
	販売段階	16.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	15.6					
栃木	出荷+販売段階	65.3					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	64.3					
	出荷段階	40.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	40.3					
	販売段階	24.9					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	24.0					
群馬	出荷+販売段階	8.1					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	8.0					
	出荷段階	5.9					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	5.9					
	販売段階	2.2					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	2.1					
埼玉	出荷+販売段階	10.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	10.4					
	出荷段階	7.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	7.4					
	販売段階	3.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	3.0					

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 水稲うるち米及び水稲うるち玄米（醸造用玄米を含む。）の月末在庫量（玄米換算）の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の玄米仕入量が500トン以上）である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者（年間の玄米仕入量が4,000トン以上）である。

(千葉から静岡)

(新潟から愛知)

(単位:千玄米トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
千葉	出荷+販売段階	15.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	15.2					
	出荷段階	4.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	4.0					
東京	販売段階	11.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	11.2					
	出荷+販売段階	0.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	0.0					
神奈川	出荷段階						
	2年産米						
	1年古米(元年産)						
	販売段階	0.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	0.0					
山梨	出荷+販売段階	0.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	0.6					
	出荷段階	0.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	0.6					
長野	販売段階	0.1					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	0.1					
	出荷+販売段階	2.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	2.0					
静岡	出荷段階	1.7					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	1.7					
	販売段階	0.3					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	0.3					
新潟	出荷+販売段階	29.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	29.0					
	出荷段階	20.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	20.5					
富山	販売段階	9.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	8.5					
	出荷+販売段階	3.5					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	3.5					
石川	出荷段階	1.2					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	1.2					
	販売段階	2.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	2.3					

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月
新潟	出荷+販売段階	84.7					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	83.9					
	出荷段階	62.3					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	62.1					
富山	販売段階	22.4					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	21.8					
	出荷+販売段階	25.8					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	25.5					
石川	出荷段階	16.8					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	16.8					
	販売段階	9.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	8.7					
福井	出荷+販売段階	16.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	16.1					
	出荷段階	10.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	9.7					
岐阜	販売段階	6.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	6.4					
	出荷+販売段階	22.2					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	21.9					
愛知	出荷段階	15.2					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	15.1					
	販売段階	7.0					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	6.8					
愛知	出荷+販売段階	14.3					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	13.3					
	出荷段階	8.5					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	8.5					
愛知	販売段階	5.8					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	4.9					
	出荷+販売段階	12.3					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	12.0					
愛知	出荷段階	9.7					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	9.7					
	販売段階	2.6					
	2年産米						
	1年古米(元年産)	2.4					

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

(三重から奈良)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
三重	出荷+販売段階	9.3						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	8.4						
	出荷段階	7.3						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	6.6						
	販売段階	2.0						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	1.8						
	滋賀	出荷+販売段階	19.1					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	17.4					
出荷段階		14.8						
2年産米								
1年古米(元年産)		13.4						
販売段階		4.3						
2年産米								
1年古米(元年産)		4.0						
京都		出荷+販売段階	4.5					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	4.5					
	出荷段階	3.6						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	3.6						
	販売段階	0.9						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	0.9						
	大阪	出荷+販売段階	0.5					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	0.5					
出荷段階		0.4						
2年産米								
1年古米(元年産)		0.4						
販売段階		0.1						
2年産米								
1年古米(元年産)		0.1						
兵庫		出荷+販売段階	18.9					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	18.7					
	出荷段階	16.1						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	16.1						
	販売段階	2.9						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	2.7						
	奈良	出荷+販売段階	3.4					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	3.2					
出荷段階		2.2						
2年産米								
1年古米(元年産)		2.2						
販売段階		1.2						
2年産米								
1年古米(元年産)		1.1						

(和歌山から山口)

(単位:千玄米トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
和歌山	出荷+販売段階	0.6						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	0.6						
	出荷段階							
	2年産米							
	1年古米(元年産)							
	販売段階	0.6						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	0.6						
	鳥取	出荷+販売段階	9.3					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	9.2					
出荷段階		6.6						
2年産米								
1年古米(元年産)		6.6						
販売段階		2.8						
2年産米								
1年古米(元年産)		2.6						
島根		出荷+販売段階	6.7					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	6.5					
	出荷段階	4.9						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	4.9						
	販売段階	1.8						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	1.6						
	岡山	出荷+販売段階	23.1					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	22.8					
出荷段階		17.6						
2年産米								
1年古米(元年産)		17.5						
販売段階		5.4						
2年産米								
1年古米(元年産)		5.3						
広島		出荷+販売段階	11.3					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	10.7					
	出荷段階	7.4						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	7.4						
	販売段階	3.9						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	3.3						
	山口	出荷+販売段階	11.0					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	10.9					
出荷段階		9.1						
2年産米								
1年古米(元年産)		9.1						
販売段階		1.9						
2年産米								
1年古米(元年産)		1.8						

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

(徳島から佐賀)

(長崎から沖縄)

(単位:千玄米トン)

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
徳島	出荷+販売段階	3.0						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	2.8						
	出荷段階	0.9						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	0.9						
	販売段階	2.1						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	1.8						
	香川	出荷+販売段階	6.6					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	6.4					
出荷段階		5.7						
2年産米								
1年古米(元年産)		5.7						
販売段階		0.9						
2年産米								
1年古米(元年産)		0.7						
愛媛		出荷+販売段階	2.7					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	2.5					
	出荷段階	2.1						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	2.0						
	販売段階	0.5						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	0.5						
	高知	出荷+販売段階	2.0					
		2年産米	0.1					
		1年古米(元年産)	1.6					
出荷段階		0.2						
2年産米		0.0						
1年古米(元年産)		0.1						
販売段階		1.9						
2年産米		0.0						
1年古米(元年産)		1.5						
福岡		出荷+販売段階	13.8					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	13.4					
	出荷段階	10.7						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	10.6						
	販売段階	3.1						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	2.8						
	佐賀	出荷+販売段階	10.6					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	10.5					
出荷段階		7.8						
2年産米								
1年古米(元年産)		7.8						
販売段階		2.8						
2年産米								
1年古米(元年産)		2.7						

		2年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	
長崎	出荷+販売段階	2.4						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	2.3						
	出荷段階	2.1						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	2.1						
	販売段階	0.3						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	0.2						
	熊本	出荷+販売段階	14.1					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	12.9					
出荷段階		9.0						
2年産米								
1年古米(元年産)		8.9						
販売段階		5.1						
2年産米								
1年古米(元年産)		4.0						
大分		出荷+販売段階	4.1					
		2年産米						
		1年古米(元年産)	4.0					
	出荷段階	2.6						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	2.6						
	販売段階	1.5						
	2年産米							
	1年古米(元年産)	1.4						
	宮崎	出荷+販売段階	3.6					
		2年産米	1.6					
		1年古米(元年産)	1.9					
出荷段階		1.9						
2年産米		0.8						
1年古米(元年産)		1.1						
販売段階		1.7						
2年産米		0.8						
1年古米(元年産)		0.8						
鹿児島		出荷+販売段階	6.9					
		2年産米	0.4					
		1年古米(元年産)	5.8					
	出荷段階	5.0						
	2年産米	0.0						
	1年古米(元年産)	4.4						
	販売段階	1.9						
	2年産米	0.4						
	1年古米(元年産)	1.5						
	沖縄	出荷+販売段階	0.6					
		2年産米	0.6					
		1年古米(元年産)	0.0					
出荷段階		0.3						
2年産米		0.3						
1年古米(元年産)		0.0						
販売段階		0.2						
2年産米		0.2						
1年古米(元年産)		0.0						

※本表の注意点は「在庫5」の脚注を参照。

Ⅲ 米の契約・販売情報

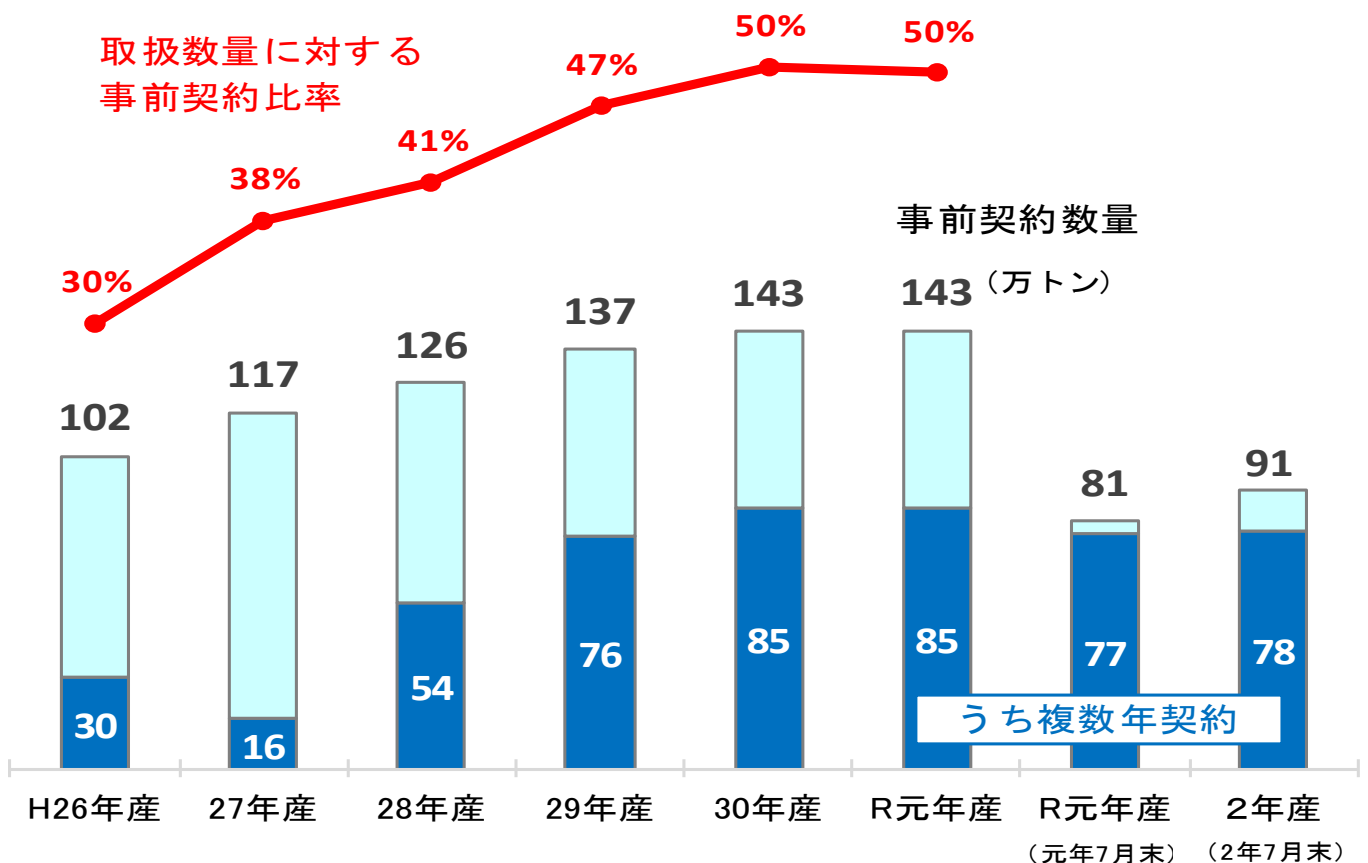
1 事前契約の取組状況

契約・販売状況の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」で御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 近年の事前契約数量の推移（平成26年産～令和2年産）

- 事前契約数量は、農水省が一定規模以上の集出荷業者を対象に、「収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量」について調査。
- 近年、主食用米の事前契約（複数年契約）の取組は、年々増加。

【近年の事前契約数量の推移】



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：30年産以前は確定値、元年産・2年産は2年7月末時点の速報値。

6：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 令和2年産米の産地別事前契約の取組状況（令和2年7月末現在）（速報）

- 令和2年産の7月末現在の事前契約数量は前年+9.9万トンの90.7万トンとなっている。

単位：千玄米トン

	元年産				2年産		
	事前契約数量	うち、 複数年契約	元年7月末 現在 ①	うち、 複数年契約	2年7月末 現在 ②	うち、 複数年契約	前年 同月差 ②-①
北海道	208.5	183.0	172.2	172.2	180.7	180.7	+ 8.5
青森	56.7	19.5	11.3	11.3	65.2	28.3	+ 53.9
岩手	88.8	88.8	82.1	82.1	87.9	85.3	+ 5.8
宮城	126.9	113.7	126.9	113.7	129.1	117.3	+ 2.2
秋田	190.4	101.3	95.3	86.4	121.2	95.9	+ 25.9
山形	81.6	31.4	21.0	21.0	13.9	13.9	▲ 7.1
福島	46.7	45.6	43.2	43.2	17.0	17.0	▲ 26.2
茨城	16.3	1.0	-	-	-	-	-
栃木	74.0	69.6	69.6	69.6	65.1	65.1	▲ 4.5
群馬	0.2	-	-	-	-	-	-
埼玉	7.8	0.9	0.6	0.6	5.1	0.9	+ 4.5
千葉	12.0	12.0	8.1	8.1	-	-	▲ 8.1
東京	-	-	-	-	-	-	-
神奈川	-	-	-	-	-	-	-
山梨	-	-	-	-	-	-	-
長野	35.1	32.5	31.0	31.0	33.2	31.1	+ 2.2
静岡	1.7	-	-	-	1.6	-	+ 1.6
新潟	167.7	105.5	102.5	102.5	122.2	122.2	+ 19.7
富山	39.7	8.2	0.7	0.7	-	-	▲ 0.7
石川	20.5	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	▲ 1.5
福井	9.1	9.1	9.3	9.3	-	-	▲ 9.3
岐阜	15.0	2.6	-	-	-	-	-
愛知	13.0	1.7	1.5	1.5	1.7	1.7	+ 0.2
三重	20.0	-	-	-	-	-	-
滋賀	35.4	16.6	7.7	7.7	9.9	9.9	+ 2.2
京都	6.8	-	-	-	-	-	-
大阪	-	-	-	-	-	-	-
兵庫	13.0	-	13.0	-	13.0	-	+ 0.0
奈良	-	-	-	-	-	-	-
和歌山	-	-	-	-	-	-	-
鳥取	4.1	-	4.1	-	-	-	▲ 4.1
島根	34.7	3.2	2.4	2.4	-	-	▲ 2.4
岡山	4.7	-	-	-	-	-	-
広島	24.7	-	-	-	24.5	-	+ 24.5
山口	22.4	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	▲ 0.1
徳島	2.2	-	-	-	-	-	-
香川	15.8	5.7	3.3	3.3	6.0	6.0	+ 2.7
愛媛	3.3	-	-	-	-	-	-
高知	2.1	-	-	-	0.3	-	+ 0.3
福岡	26.1	0.8	0.6	0.6	0.2	0.2	▲ 0.4
佐賀	-	-	-	-	-	-	-
長崎	-	-	-	-	7.2	-	+ 7.2
熊本	-	-	-	-	-	-	-
大分	3.3	-	-	-	-	-	-
宮崎	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島	-	-	-	-	-	-	-
沖縄	-	-	-	-	-	-	-
全 国	1,430	855	809	769	907	778	99

資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注1：報告対象業者は、年間取扱量5,000トン以上の出荷事業者。

2：「事前契約数量」は、収穫前の段階において確認書等により販売数量が決定している数量。

3：「複数年契約」の契約期間は3年間が大宗である。

4：「単年契約」とは、は種前・収穫前契約による数量。

5：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

2 令和元年産米の産地別契約・販売状況

(累計、うるち米、令和2年7月末現在) (速報)

集荷・契約・販売数量(北海道から静岡まで)

単位: (千玄米ト)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考: 前年同月比 (30年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
北海道	104	343.9	338.0	98%	264.7	77%	111%	112%	110%
ななつぼし		164.2	163.0	99%	127.4	78%	117%	119%	115%
ゆめぴりか		80.1	79.6	99%	68.3	85%	108%	108%	117%
きらら397		38.1	37.0	97%	22.0	58%	113%	113%	110%
青森	106	157.1	140.3	89%	108.4	69%	106%	104%	99%
まっしぐら		112.0	98.2	88%	75.2	67%	109%	106%	97%
つがるロマン		35.4	32.5	92%	24.5	69%	99%	101%	107%
岩手	103	137.2	135.9	99%	91.8	67%	106%	107%	96%
ひとめぼれ		105.0	103.8	99%	70.3	67%	106%	106%	94%
あきたこまち		15.8	15.8	100%	10.0	63%	107%	107%	91%
銀河のしずく		6.7	6.7	100%	4.9	73%
宮城	102	173.3	166.0	96%	110.7	64%	102%	93%	94%
ひとめぼれ		135.3	130.5	96%	83.7	62%	100%	92%	88%
つや姫		12.0	11.6	97%	9.4	78%	101%	91%	106%
ササニシキ		8.4	8.2	97%	5.7	68%	104%	97%	103%
秋田	104	275.1	268.7	98%	216.1	79%	109%	109%	107%
あきたこまち		223.9	217.6	97%	184.1	82%	111%	109%	108%
めんこいな		13.5	13.5	101%	9.3	69%	89%	97%	105%
ひとめぼれ		21.4	21.2	99%	13.0	61%	112%	114%	99%
山形	105	216.0	213.7	99%	152.7	71%	117%	116%	103%
はえぬき		127.1	127.3	100%	84.0	66%	114%	116%	98%
つや姫		42.9	41.9	98%	35.7	83%	122%	117%	116%
ひとめぼれ		16.2	15.8	97%	13.3	82%	112%	111%	108%
福島	102	175.9	158.2	90%	101.4	58%	111%	107%	100%
コシヒカリ中通り		48.1	41.5	86%	27.3	57%	105%	99%	88%
コシヒカリ会津		46.0	45.9	100%	24.4	53%	111%	112%	112%
コシヒカリ浜通り		8.2	8.7	107%	3.6	44%	109%	124%	78%
ひとめぼれ		31.3	29.3	93%	19.8	63%	105%	105%	85%
天のつぶ		26.1	22.2	85%	16.3	62%	126%	123%	142%
茨城	96	71.0	70.8	100%	58.5	82%	99%	103%	97%
コシヒカリ		52.8	52.6	100%	41.4	78%	99%	102%	94%
あきたこまち		9.8	9.8	100%	9.8	99%	99%	99%	99%
あさひの夢		1.1	1.1	100%	0.6	58%
栃木	97	125.7	116.3	93%	86.6	69%	92%	89%	99%
コシヒカリ		94.0	87.7	93%	63.7	68%	88%	86%	95%
あさひの夢		8.9	8.3	93%	6.2	70%	93%	90%	92%
とちぎの星		12.9	11.6	90%	9.3	72%
群馬	98	22.1	22.0	100%	16.3	74%	88%	94%	99%
あさひの夢		16.3	16.2	100%	11.6	71%	93%	97%	106%
ゆめまつり		3.8	3.8	99%	3.4	88%	78%	90%	93%
埼玉	98	18.0	15.5	86%	12.2	68%	98%	92%	94%
彩のかがやき		8.0	6.5	82%	5.2	65%	90%	82%	77%
コシヒカリ		3.8	3.4	91%	2.5	67%	80%	78%	80%
彩のきずな		4.5	4.1	92%	3.2	70%	128%	122%	142%
千葉	95	77.0	77.4	100%	75.1	98%	97%	100%	105%
コシヒカリ		36.3	35.5	98%	35.0	96%	96%	97%	106%
ふさこがね		18.9	18.7	99%	18.6	99%	104%	105%	114%
ふさおとめ		17.1	16.8	99%	16.8	98%	95%	94%	98%
東京	97	0.0	0.0	100%	0.0	100%	50%	50%	50%
神奈川	95	1.8	1.2	70%	1.2	70%	78%	66%	66%
山梨	99	5.9	4.2	71%	4.2	71%	101%	97%	97%
コシヒカリ		5.1	3.7	72%	3.7	72%	103%	97%	97%
長野	100	69.8	69.3	99%	51.3	73%	104%	106%	102%
コシヒカリ		55.1	54.9	100%	40.1	73%	104%	105%	100%
あきたこまち		7.7	7.5	97%	5.9	76%	102%	105%	113%
静岡	99	6.2	6.2	100%	6.2	100%	103%	103%	103%
コシヒカリ		4.1	4.1	100%	4.1	100%	102%	102%	102%
きぬむすめ		0.8	0.8	100%	0.8	100%	111%	111%	111%
あいちのかおり		0.8	0.8	100%	0.8	100%	96%	96%	96%

注: 本表の注意点は次々頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量（新潟から広島まで）

単位：（千玄米トン）

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考：前年同月比 (30年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
新潟	100	284.4	273.0	96%	227.0	80%	109%	106%	103%
コシヒカリ一般		134.6	131.2	97%	105.3	78%	107%	106%	96%
コシヒカリ魚沼		33.8	31.8	94%	28.6	85%	108%	106%	103%
コシヒカリ佐渡		14.5	14.2	98%	12.3	85%	122%	122%	117%
コシヒカリ岩船		12.7	12.6	99%	10.2	80%	120%	120%	108%
こしいぶき		48.1	44.9	93%	38.5	80%	104%	100%	110%
富山	102	90.8	87.9	97%	75.7	83%	99%	100%	97%
コシヒカリ		65.6	64.1	98%	57.6	88%	93%	95%	96%
てんたかく		9.4	9.4	100%	7.2	76%	113%	124%	98%
石川	102	25.7	25.7	100%	18.5	72%	94%	95%	104%
コシヒカリ		14.2	14.2	100%	10.2	72%	84%	85%	98%
ゆめみつぼ		4.3	4.3	100%	3.0	70%	80%	80%	82%
福井	100	70.4	65.8	93%	57.7	82%	101%	95%	101%
コシヒカリ		28.4	26.2	92%	23.6	83%	95%	88%	96%
ハナエチゼン		21.5	21.0	98%	20.2	94%	105%	104%	110%
あきさかり		7.7	6.4	82%	5.4	70%
岐阜	99	22.5	22.5	100%	15.5	69%	116%	116%	102%
ハツシモ		10.2	9.6	94%	6.1	59%	138%	133%	113%
コシヒカリ		6.6	6.2	93%	4.6	69%	101%	97%	86%
あきたこまち		0.8	0.8	96%	0.6	68%
愛知	98	31.1	29.6	95%	22.5	73%	97%	95%	90%
あいちのかおり		16.8	16.4	98%	10.5	62%	100%	95%	84%
コシヒカリ		9.6	8.9	93%	8.4	87%	99%	94%	100%
大地の風		1.3	1.3	100%	0.9	69%	99%	98%	82%
三重	95	25.8	25.8	100%	22.5	87%	90%	92%	92%
コシヒカリ一般		13.6	13.6	100%	12.1	89%	87%	86%	88%
コシヒカリ伊賀		5.7	5.7	100%	5.1	89%	96%	99%	102%
キヌヒカリ		1.8	1.8	100%	1.3	70%	86%	92%	80%
滋賀	98	52.3	54.9	105%	43.0	82%	92%	102%	95%
コシヒカリ		17.9	18.9	105%	15.4	86%	87%	97%	95%
キヌヒカリ		9.6	10.0	104%	7.9	82%	89%	101%	87%
みずかがみ		10.0	10.2	102%	8.7	87%
京都	99	8.4	9.9	117%	6.2	74%	90%	87%	83%
コシヒカリ		4.8	5.8	120%	4.1	84%	90%	84%	88%
キヌヒカリ		1.9	2.3	119%	1.1	58%	87%	87%	56%
ヒノヒカリ		1.0	1.0	100%	0.7	68%	104%	100%	114%
大阪	101	-	-	-	-	-
兵庫	99	41.4	41.4	100%	28.1	68%	103%	110%	88%
コシヒカリ		10.6	10.6	100%	9.9	94%	95%	96%	96%
ヒノヒカリ		4.1	4.1	100%	3.0	73%	112%	122%	112%
キヌヒカリ		3.2	3.2	100%	2.6	81%	96%	100%	95%
奈良	100	8.4	6.3	74%	6.3	74%	107%	97%	97%
ヒノヒカリ		6.7	5.0	75%	5.0	75%	110%	103%	103%
和歌山	99	0.9	0.9	100%	0.9	100%	94%	94%	94%
鳥取	100	22.3	21.6	97%	17.9	80%	100%	101%	95%
コシヒカリ		7.8	7.8	99%	6.4	82%	93%	98%	94%
きぬむすめ		7.2	6.9	96%	5.7	79%	95%	94%	87%
ひとめぼれ		5.2	5.3	102%	4.4	85%	88%	92%	85%
島根	99	34.7	34.3	99%	29.9	86%	91%	93%	95%
きぬむすめ		13.9	13.9	100%	12.2	88%	84%	86%	88%
コシヒカリ		13.9	13.5	97%	11.4	82%	96%	98%	101%
つや姫		4.3	4.3	100%	4.0	93%	95%	94%	104%
岡山	98	45.8	45.8	100%	31.5	69%	203%	202%	214%
アケボノ		8.6	8.6	100%	4.3	50%	129%	129%	125%
あきたこまち		6.2	6.2	100%	5.5	88%	342%	342%	353%
ヒノヒカリ		3.8	3.8	100%	2.6	70%	143%	143%	137%
広島	95	29.6	32.7	111%	23.3	79%	91%	82%	92%
コシヒカリ		12.2	13.6	112%	10.7	87%	88%	82%	92%
あきさかり		6.3	7.2	114%	4.9	78%	108%	110%	105%
あきろまん		2.6	3.2	122%	1.7	67%	84%	76%	78%

注：本表の注意点は次頁の脚注を参照

集荷・契約・販売数量(山口から沖縄まで、全国計)

単位: (千玄米トン)

	作況 指数	集荷数量 ①	契約数量 ②	契約 比率 ②/①	販売数量 ③	販売 比率 ③/①	参考: 前年同月比 (30年産の同時期との比較)		
							集荷数量	契約数量	販売数量
山口	94	32.6	32.0	98%	24.1	74%	81%	80%	85%
コシヒカリ		9.6	9.9	103%	7.7	79%	81%	84%	82%
ひとめぼれ		7.8	7.9	102%	6.5	84%	79%	82%	86%
ヒノヒカリ		6.8	6.6	97%	4.8	71%	79%	77%	84%
徳島	98	5.6	5.3	95%	5.2	94%	115%	109%	122%
コシヒカリ		2.6	2.6	100%	2.6	100%	112%	112%	119%
キヌヒカリ		0.8	0.8	100%	0.8	100%	60%	60%	73%
香川	95	19.7	19.7	100%	14.0	71%	91%	101%	93%
コシヒカリ		6.6	6.6	100%	5.9	88%	87%	93%	96%
ヒノヒカリ		5.9	5.9	100%	3.5	59%	89%	91%	85%
おいでまい		4.1	4.1	100%	3.0	74%	92%	106%	103%
愛媛	94	8.2	7.8	95%	7.0	86%	83%	87%	83%
コシヒカリ		3.3	3.3	99%	3.1	94%	83%	85%	83%
ヒノヒカリ		1.4	1.1	84%	1.0	74%	80%	89%	79%
あきたこまち		0.9	0.9	98%	0.8	89%	64%	70%	66%
高知	91	9.6	9.5	99%	9.5	99%	114%	116%	116%
コシヒカリ		6.3	6.3	100%	6.3	100%	110%	110%	110%
ヒノヒカリ		1.3	1.3	95%	1.3	95%	142%	146%	146%
福岡	91	42.9	41.6	97%	35.4	83%	81%	81%	84%
夢つくし		13.9	13.6	98%	12.8	92%	82%	80%	88%
ヒノヒカリ		11.3	11.1	98%	8.8	78%	81%	81%	81%
元気つくし		14.5	13.7	94%	11.8	81%	78%	78%	82%
佐賀	58	28.2	28.2	100%	20.7	73%	67%	67%	66%
夢しずく		10.6	10.6	100%	8.5	80%	73%	73%	84%
さがびより		7.6	7.6	100%	4.8	63%	58%	58%	46%
ヒノヒカリ		6.2	6.2	100%	4.1	66%	67%	67%	61%
長崎	94	9.1	9.4	102%	7.2	79%	79%	82%	82%
にこまる		3.8	3.9	103%	2.7	72%	76%	80%	78%
ヒノヒカリ		2.4	2.4	100%	2.0	84%	70%	71%	75%
コシヒカリ		1.2	1.2	107%	1.0	90%	84%	89%	78%
熊本	94	32.2	25.4	79%	25.4	79%	85%	79%	97%
ヒノヒカリ		12.8	10.0	78%	10.0	78%	78%	81%	91%
森のくまさん		6.3	4.7	75%	4.7	75%	83%	72%	97%
コシヒカリ		5.8	5.6	96%	5.6	96%	103%	99%	122%
大分	85	9.1	9.1	100%	7.0	77%	76%	76%	89%
ヒノヒカリ		5.8	5.8	100%	4.3	74%	72%	72%	90%
ひとめぼれ		0.8	0.8	101%	0.6	85%	89%	89%	99%
つや姫		1.7	1.7	100%	1.4	87%
宮崎	94	12.0	12.0	100%	11.5	96%	81%	81%	82%
コシヒカリ		6.6	6.6	100%	6.6	100%	77%	77%	77%
ヒノヒカリ		4.7	4.7	100%	4.3	92%	86%	86%	90%
鹿児島	94	12.3	12.3	100%	11.5	93%	102%	102%	106%
ヒノヒカリ		4.8	4.8	100%	4.1	86%	100%	100%	109%
あきほなみ		2.0	2.0	100%	1.8	92%	119%	119%	129%
コシヒカリ		3.5	3.5	100%	3.5	100%	100%	100%	100%
沖縄	97	1.4	1.4	100%	1.4	99%	91%	91%	91%
全国①	99	2,946	2,847	97%	2,216	75%	103%	102%	100%
参考	前年同月(30年産)②	2,849	2,779	98%	2,209	78%			
	前年同月差(①-②)	97	+ 68	▲ 1%	7	▲ 3%			

資料: 農林水産省「米穀の取引に関する報告」

注: 1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の直接販売数量が5,000トン以上)である。

2 報告対象米穀は、水稲うるちのみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)である。

3 集荷数量は、報告対象業者が自ら販売するために集荷した数量である。

4 契約数量は、報告対象業者が自ら販売するために契約を締結(確認書等により数量のみが決定した契約を含む。)した数量である。

5 販売数量は、集荷数量のうち契約のあと実際に卸売業者等に引き取られた数量である。

6 銘柄ごとの集荷数量、契約数量、販売数量は、当該産地の内数として掲載している。

7 全国欄には産地の特定が出来ない未検査米等を含んでいるため、産地の合計と一致しない。

8 「-」は、集荷数量、契約数量、販売数量に該当がないものである。

9 「参考: 前年同月比」で、令和元年産又は平成30年産の同時期に数量がなかった場合は、「…」としている。

IV 米の価格情報

1 相対取引価格・数量

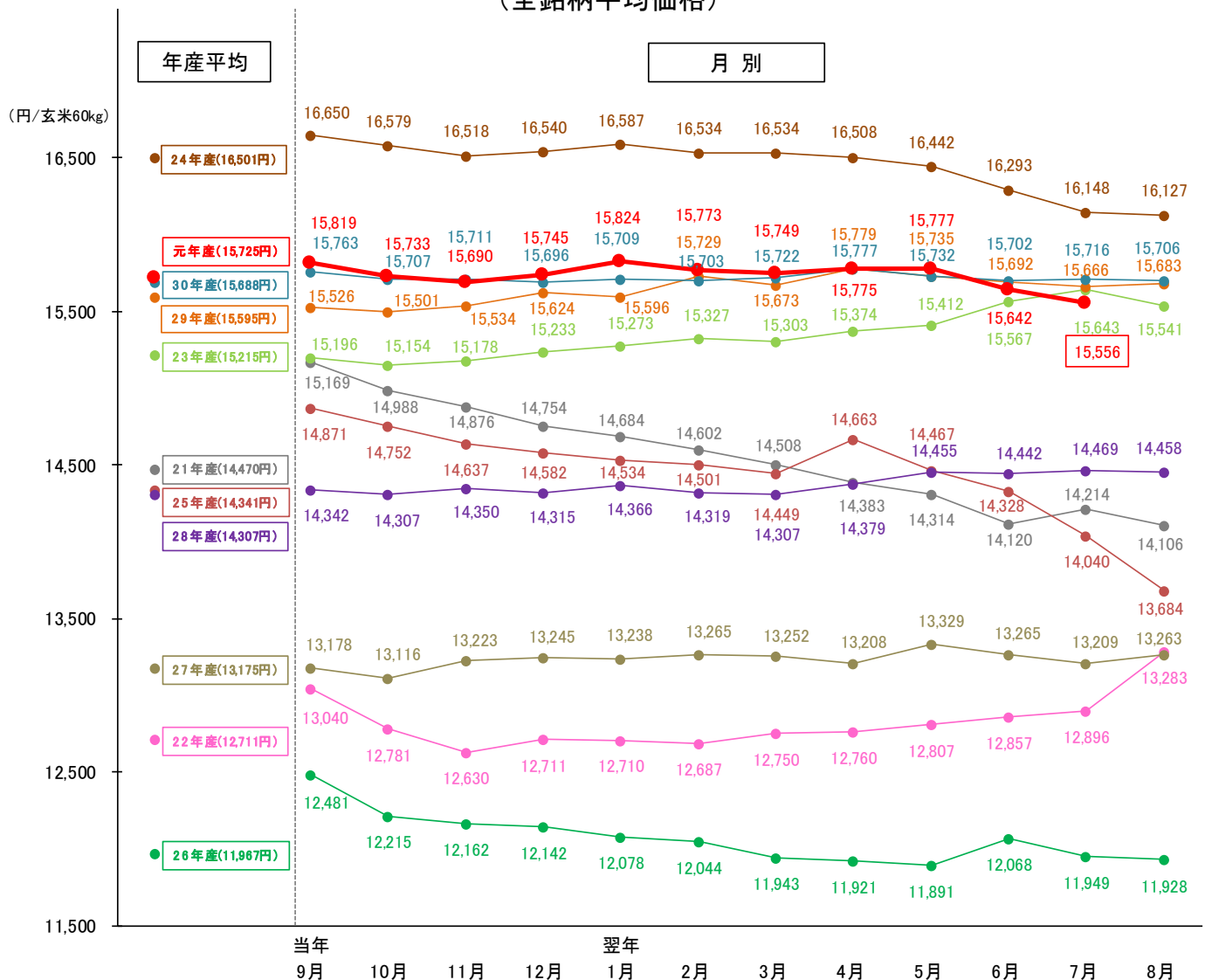
相対取引価格の累年データについては、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/aitaikakaku.html> 】

(1) 年産別の相対取引価格

・令和元産米の令和2年7月の相対取引価格は、全銘柄平均で15,556円/60kgとなり、前月より▲86円、出回りからの年産平均価格は前年産+37円の15,725円/60kgとなったところ。

※ 産地銘柄ごとの価格は、次頁以降を参照。

相対取引価格の推移（税込）
（全銘柄平均価格）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

- 注：1 報告対象業者は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体（年間の玄米仕入数量が5,000トン以上）、出荷業者（年間の直接販売数量が5,000トン以上）である。
 2 価格には、運賃、包装代、消費税が含まれている。なお、消費税は、令和元年9月以前は8%、10月以降は軽減税率の対象である米穀の品代等は8%、運賃等は10%で算定している。
 3 グラフの左側は年産別の平均価格（注4）、グラフの右側は月別の価格である。
 4 平均価格とは、当該年産の出回りから翌年10月（元年産は令和2年7月）までの通年平均価格（30年産以前は確定値、元年産は速報値。確定値は月毎の速報値公表後の修正を反映させたものである）。

2 スポット価格の状況（日本コメ市場株式会社）

日本コメ市場株式会社の取引概要につきましては、以下のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.nihonkomeshijyo.co.jp/> 】

〔 ○ スポット取引は、相当期間にわたり安定的に行う相対取引等と性格を異にするので利用に当たっては注意が必要。 〕

【令和元年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		令和元年 8月	9月	10月	11月	12月	令和2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
青森まっぐら	取引会				14,000									
青森つがるロマン	随時				14,243									
宮城ひとめぼれ	随時									14,050			12,955	
秋田あきたこまち	随時		15,010	14,832	14,632	14,900	14,987	14,834	14,350	14,259	13,895	12,143	13,405	
	取引会		15,019		14,879									
福島天のつぶ	取引会						14,183							
茨城コシヒカリ	随時			14,500										12,487
	取引会				14,550									
栃木コシヒカリ	随時					14,666	14,657			13,780				
栃木とちぎの星	取引会						13,950							
栃木あさひの夢	取引会				13,769									
千葉コシヒカリ	取引会	14,750					14,600							
千葉ふさおとめ	取引会	14,088	14,015											
千葉ふさこがね	取引会	14,024	13,950											
新潟コシヒカリ（一般）	随時		16,794				16,726						13,996	
	取引会		16,755		16,650		16,747							

【平成30年産】

（関東到着基準、1等、包装代込、税抜、円/60kg）

産地銘柄		平成30年 8月	9月	10月	11月	12月	平成31年 1月	2月	3月	4月	令和元年 5月	6月	7月	8月
北海道なつぼし	取引会						15,750			15,500				
北海道ゆめびりか	取引会		16,113											
北海道きらら397	随時						14,975							
青森つがるロマン	随時			14,000										
宮城ひとめぼれ	随時								14,850			15,121		
	取引会									15,030				
秋田あきたこまち	随時		14,693	14,638	15,072	15,140		15,102	14,792	15,147		17,060	18,122	
	取引会		14,690		15,055		15,200		14,816		15,475		18,245	
福島コシヒカリ（中通）	随時					14,660					14,782			
	取引会										14,885			
福島ひとめぼれ	取引会						14,550						14,800	
茨城コシヒカリ	随時		14,571	14,581	14,613		14,770				14,613		15,016	
	取引会	14,220	14,470						14,495		14,600		14,981	14,895
茨城あきたこまち	取引会		13,862											
栃木コシヒカリ	随時			14,260	14,619	14,800							15,083	
栃木あさひの夢	取引会				13,671									
群馬あさひの夢	取引会								13,920					
千葉コシヒカリ	取引会	14,226			14,985		14,914							
千葉ふさおとめ	取引会	13,700												
千葉ふさこがね	取引会				14,014								14,200	
新潟コシヒカリ（一般）	随時		16,493		17,649	17,893	18,234		18,930		20,047		19,237	
	取引会		16,500		17,607		18,620		18,950		20,350		19,500	17,268

出典：日本コメ市場株式会社HP

注1：日本コメ市場（随時）の価格は、随時取引（取引日を限定せずに、ファックス、電話、IT等によって行う取引）の下期（16日～月末分）。ただし、下期が公表されていない場合は上期の価格で、関東到着基準、1等、包装代込の価格。

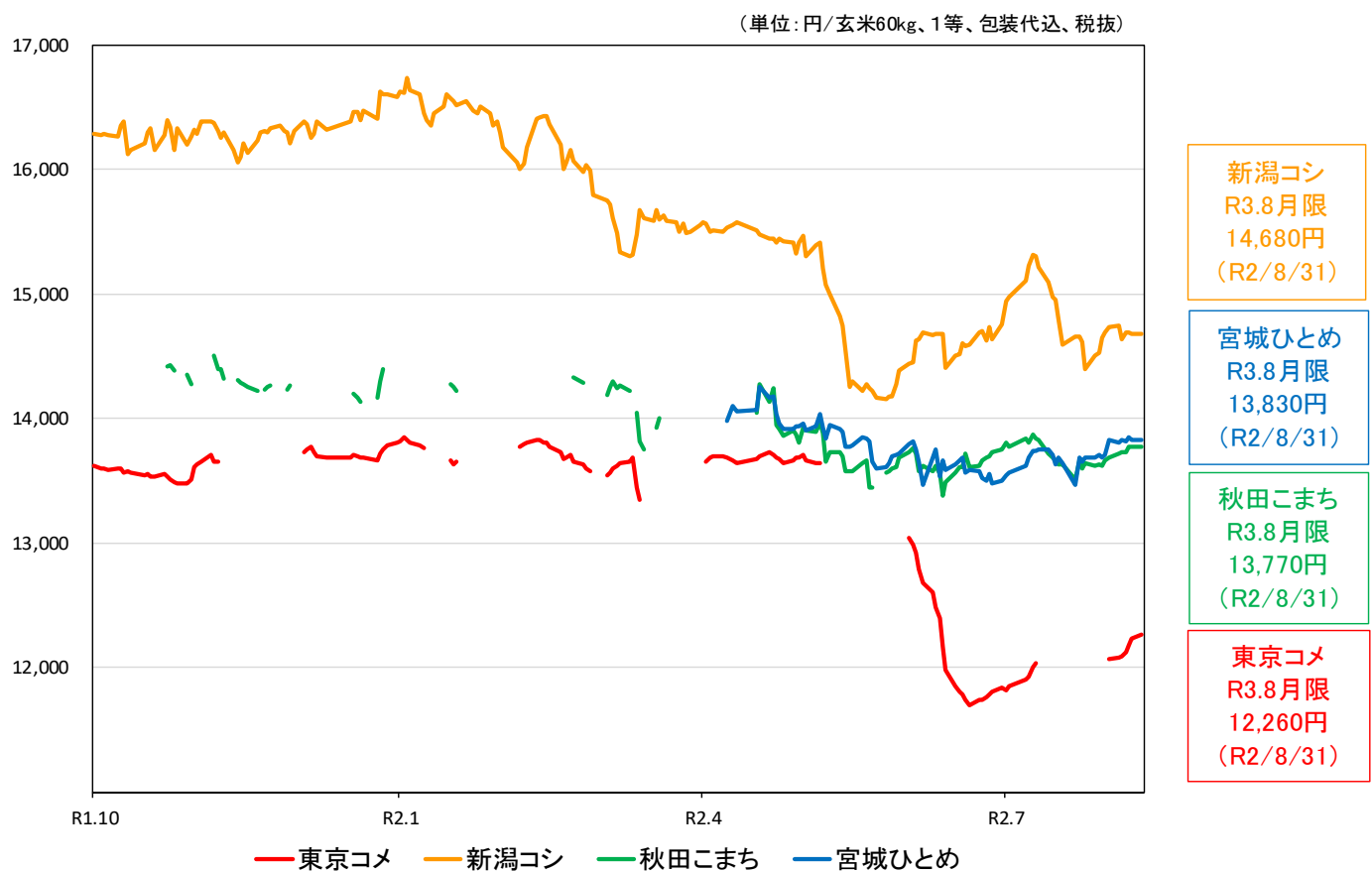
注2：日本コメ市場（取引会）の価格は、原則毎月、東京、大阪及び福岡において日本コメ市場、クリスタルライスの共同で開催される取引会での成約価格（取引数量により加重平均）であり、関東到着基準、1等、包装代込みの価格。

3 米の先物取引価格の推移

米の先物取引の情報については、農林水産省ホームページの「食料産業局」の分野別分類「商品先物取引」から御覧いただけます。【 <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/syoutori/index.html> 】

- 期先限月の終値（1日の最終約定値段）は、
東京コメが令和3年8月限12,260円（令和2年8月31日）、
新潟コシが令和3年8月限14,680円（令和2年8月31日）、
秋田こまちが令和3年8月限13,770円（令和2年8月31日）、
宮城ひとめが令和3年8月限13,830円（令和2年8月31日） となっている。

価格の推移（期先限月の終値）



出典: 大阪堂島商品取引所

注1: 商品先物取引とは、将来の一定期日に一定の商品を売買することを約束して、その価格を現時点で決める取引。

注2: 令和元年10月21日から令和2年8月31日までの価格の推移である。

注3: 東京コメは栃木・群馬あさひの夢、埼玉彩のかがやき、千葉ふさおとめ・ふさこがね、新潟コシは新潟県産コシヒカリ、秋田こまちは秋田県産あきたこまち、宮城ひとめは宮城県産ひとめぼれを標準品とした取引価格。いずれも1等、消費税抜き、運賃及び包装代を含む。

注4: 期先限月とは、現物受渡や売買取引の期限が、その時点から最も先となる月。

注5: 令和2年4月21日から、「秋田こまち17(既存の秋田こまちを小口化)」と「宮城ひとめ18」が新商品として追加。「秋田こまち17」を秋田こまち、「宮城ひとめ18」を宮城ひとめとして記載。

注6: 秋田こまちは、令和2年4月20日までが「秋田こまち(既存の秋田こまち)」、令和2年4月21日以降が「秋田こまち17」の価格の推移。

4 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、令和2年8月分)

調査結果は、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。

【 <https://www.komenet.jp/> 】

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査(令和2年8月分)によると、主食用米の需給動向の現状判断は対前回調査比±0ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲2ポイント。
- 米価水準の現状判断は対前回調査比 ▲3ポイント、見通し(向こう3ヶ月)判断は▲9ポイント。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断(全体)

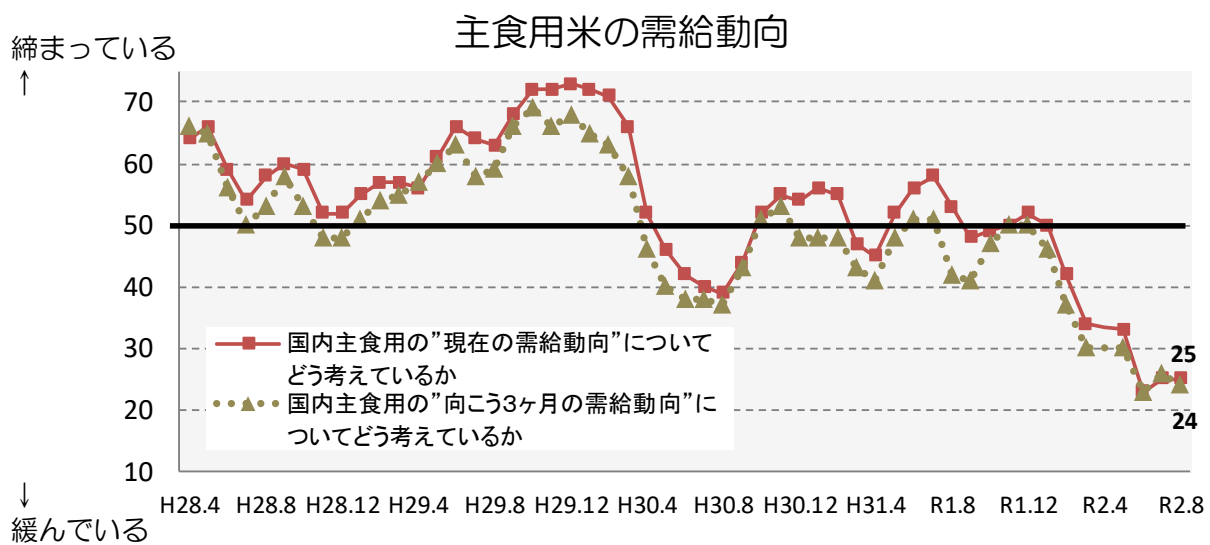
① 主食用米の需給動向

(ア) 現状判断D I

前回からの増減 ±0 (今月の数値 25)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前回からの増減 ▲2 (今月の数値 24)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

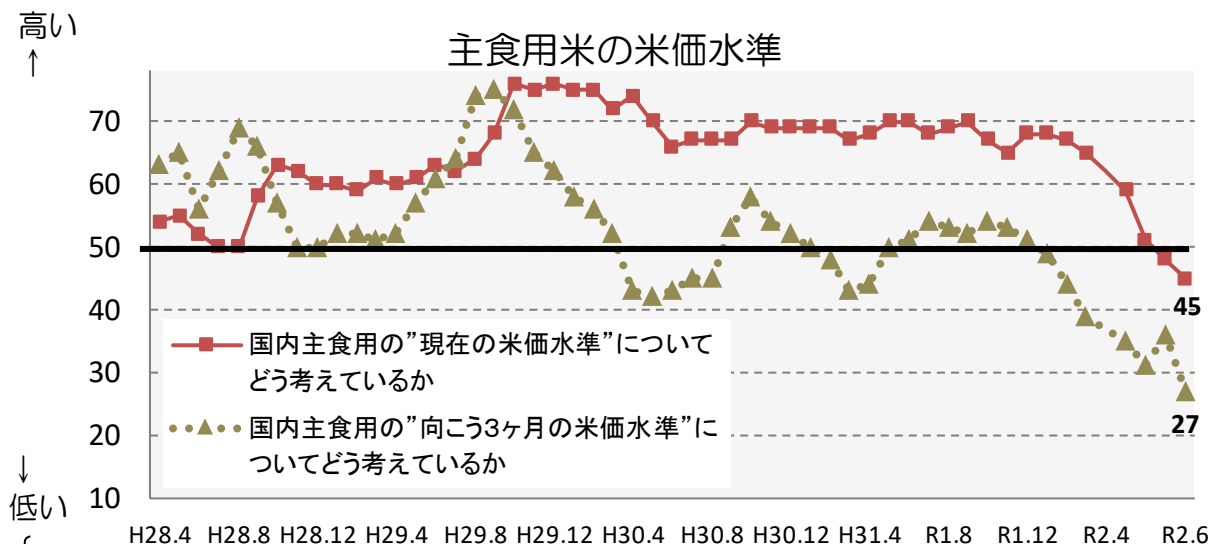
② 主食用米の米価水準

(ア) 現状判断D I

前回からの増減 ▲3 (今月の数値 45)

(イ) 見通し判断D I (向こう3ヶ月)

前回からの増減 ▲9 (今月の数値 27)



※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「米価水準が高い」/「米価水準が高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「米価水準が低い」/「米価水準が低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

2. 自社の取引状況に関する判断(業態ごと)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

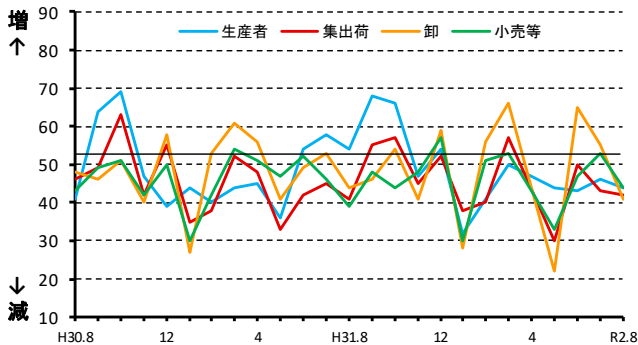
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減 ▲2 (今月の数値 44)
 集出荷：前回からの増減 ▲1 (今月の数値 42)
 卸：前回からの増減 ▲14 (今月の数値 41)
 小売等：前回からの増減 ▲9 (今月の数値 44)

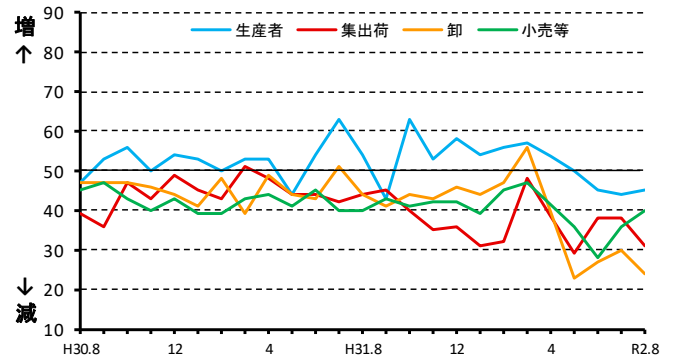
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 +1 (今月の数値 45)
 集出荷：前回からの増減 ▲7 (今月の数値 31)
 卸：前回からの増減 ▲6 (今月の数値 24)
 小売等：前回からの増減 +4 (今月の数値 40)

①-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"先月と比較"するといかがですか。



①-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

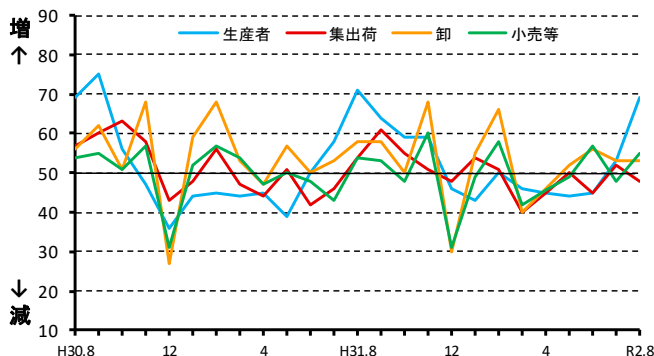
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減 +16 (今月の数値 69)
 集出荷：前回からの増減 ▲4 (今月の数値 48)
 卸：前回からの増減 ±0 (今月の数値 53)
 小売等：前回からの増減 +7 (今月の数値 55)

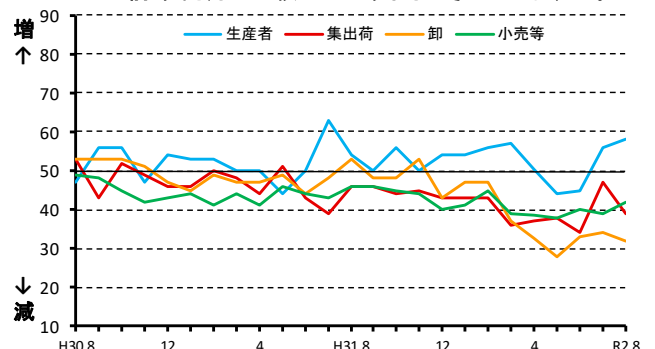
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減 +2 (今月の数値 58)
 集出荷：前回からの増減 ▲8 (今月の数値 39)
 卸：前回からの増減 ▲2 (今月の数値 32)
 小売等：前回からの増減 +3 (今月の数値 42)

①-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"販売数量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の価格に関する現状判断D I

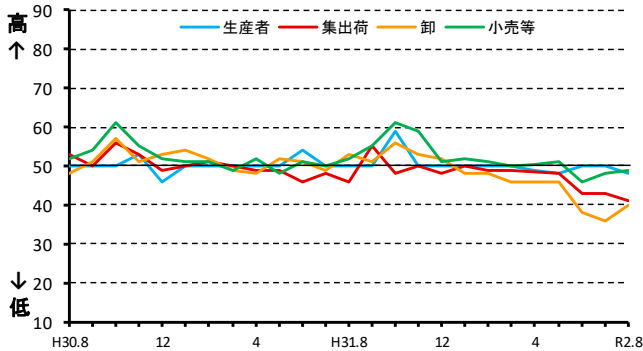
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	48)
集出荷：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	41)
卸：前回からの増減	+ 4	(今月の数値	40)
小売等：前回からの増減	+ 1	(今月の数値	49)

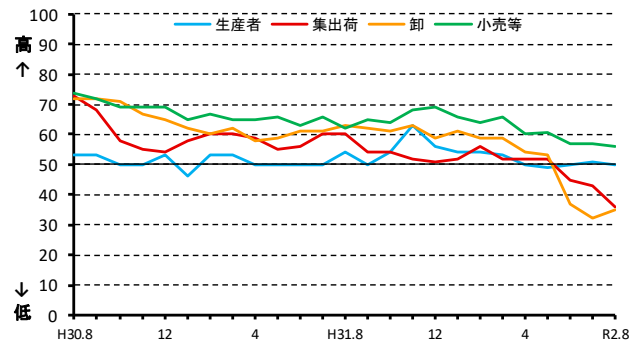
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	50)
集出荷：前回からの増減	▲ 7	(今月の数値	36)
卸：前回からの増減	+ 3	(今月の数値	35)
小売等：前回からの増減	▲ 1	(今月の数値	56)

②-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"先月と比較"するといかがですか。



②-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通しD I

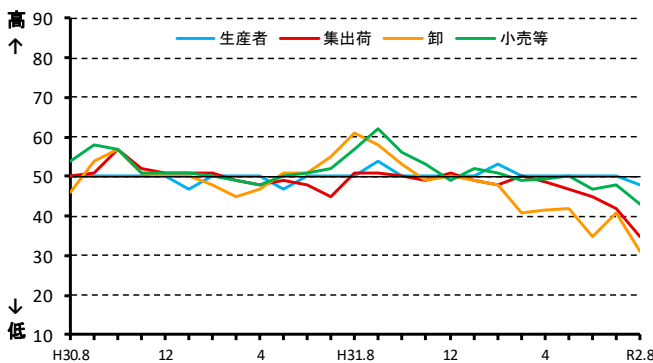
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	48)
集出荷：前回からの増減	▲ 7	(今月の数値	35)
卸：前回からの増減	▲ 10	(今月の数値	31)
小売等：前回からの増減	▲ 5	(今月の数値	43)

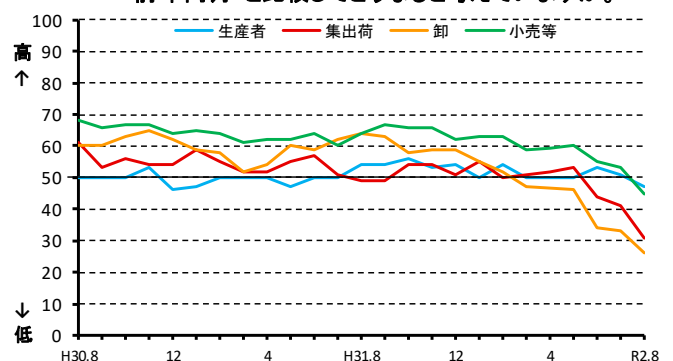
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 4	(今月の数値	47)
集出荷：前回からの増減	▲ 10	(今月の数値	31)
卸：前回からの増減	▲ 7	(今月の数値	26)
小売等：前回からの増減	▲ 8	(今月の数値	45)

②-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"価格"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示します。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

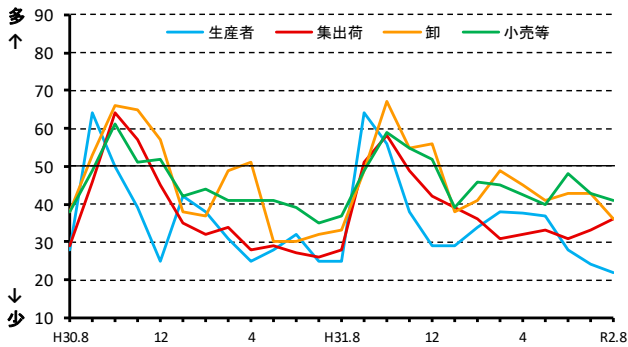
a. 先月との比較

生産者：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	2 2)
集出荷：前回からの増減	+ 3	(今月の数値	3 6)
卸：前回からの増減	▲ 7	(今月の数値	3 6)
小売等：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	4 1)

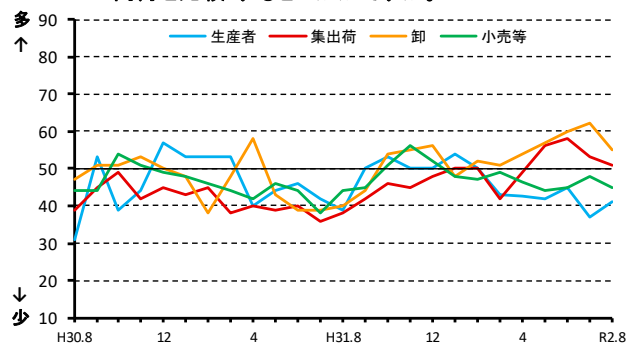
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+ 4	(今月の数値	4 1)
集出荷：前回からの増減	▲ 2	(今月の数値	5 1)
卸：前回からの増減	▲ 7	(今月の数値	5 5)
小売等：前回からの増減	▲ 3	(今月の数値	4 5)

③-ア-a 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"について、"先月と比較"するといかがですか。



③-ア-b 貴社の"今月"の主食用米の"在庫量"は、"前年同月と比較"するといかがですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

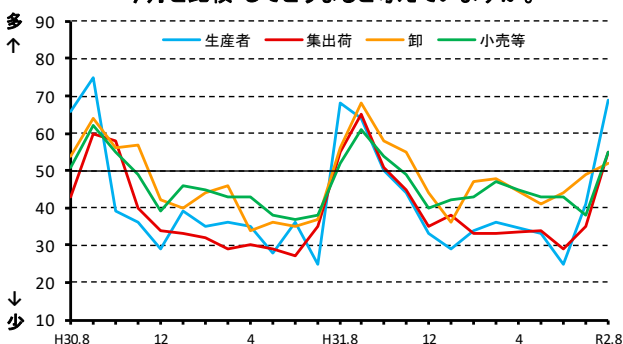
a. 今月との比較

生産者：前回からの増減	+28	(今月の数値	6 9)
集出荷：前回からの増減	+20	(今月の数値	5 5)
卸：前回からの増減	+ 3	(今月の数値	5 2)
小売等：前回からの増減	+17	(今月の数値	5 5)

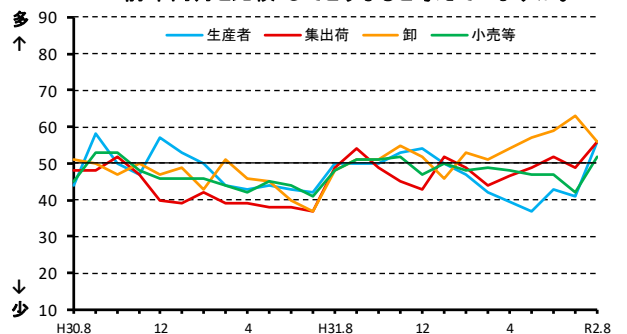
b. 前年同月との比較

生産者：前回からの増減	+15	(今月の数値	5 6)
集出荷：前回からの増減	+ 7	(今月の数値	5 6)
卸：前回からの増減	▲ 7	(今月の数値	5 6)
小売等：前回からの増減	+10	(今月の数値	5 2)

③-イ-a 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"今月と比較"してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の"来月"の主食用米の"在庫量"について、"前年同月と比較"してどうなると考えていますか。



取引関係者が1の①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
H30.8	12%	12%	5%	55%	12%	4%	1%
H30.9	11%	15%	4%	54%	10%	5%	0%
H30.10	20%	9%	2%	51%	12%	5%	0%
H30.11	19%	11%	3%	50%	11%	5%	1%
H30.12	11%	13%	3%	57%	11%	4%	1%
H31.1	12%	14%	4%	55%	12%	4%	0%
H31.2	7%	19%	2%	56%	10%	5%	1%
H31.3	5%	15%	4%	56%	17%	4%	0%
H31.4	5%	14%	4%	56%	17%	4%	0%
R1.5	4%	21%	4%	55%	13%	3%	0%
R1.6	4%	21%	5%	59%	7%	3%	1%
R1.7	15%	12%	4%	55%	7%	5%	1%

	作柄	国内の在庫水準	国の政策	米穀の調達状況	消費者の動向	競合商品の販売動向	その他
R1.8	18%	14%	8%	48%	8%	4%	1%
R1.9	24%	13%	4%	49%	6%	2%	2%
R1.10	22%	13%	3%	49%	8%	2%	2%
R1.11	19%	11%	3%	52%	13%	1%	1%
R1.12	14%	12%	3%	58%	9%	3%	1%
R2.1	7%	11%	2%	57%	18%	5%	0%
R2.2	3%	16%	4%	51%	19%	4%	2%
R2.3	2%	21%	2%	39%	28%	3%	5%
R2.4	-	-	-	-	-	-	-
R2.5	3%	18%	1%	38%	33%	3%	5%
R2.6	3%	27%	2%	35%	26%	6%	2%
R2.7	4%	32%	2%	34%	18%	5%	5%
R2.8	5%	39%	1%	34%	9%	7%	4%

《アンケート方法等》

○調査期間：毎月1日から25日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の165客体

※米取引関係者の動向をより適切に反映したものとなるよう、5月からアンケート対象事業者の拡充及び入替を行っております。

○有効回答数：137客体

- 生産者・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
- 集出荷業者／団体・・・・・・・・・・27
- 卸売業者（主に主食用米）・・・・33
- 小売業者／中食・外食業者・・・・45
- その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

※「その他」は以下の業者です。

- ・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
- ・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

○結果公表：翌月上旬（公表日時は半期ごとにホームページに掲載）

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入したため、合計と内訳が一致しないことがあります。

《DIの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する5段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（%）に乗じてDIを算出します。

ただし、DIの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではありません。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じDIが観測されることに注意が必要です。

（DIの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう3ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0
構成比(B)	17.8	20.0	20.0	22.2	20.0
各DI(C=A×B)	17.8	15	10	5.6	0
DI(合計)	48.4				

V 消費の動向

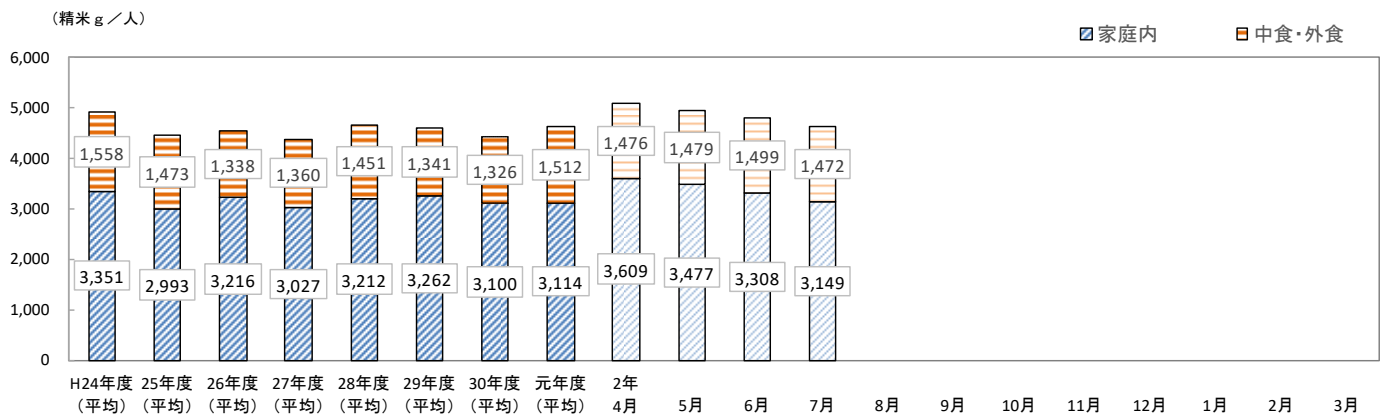
1 米の消費動向（米穀機構による調査）

調査結果の概要につきましては、米穀安定供給確保支援機構の、以下のURLから御覧いただけます。
【 <https://www.komenet.jp/> 】

○ 本調査は、調査実施機関（株）マクロミルのモニターの中から、本調査への協力の意向を示した消費世帯を対象としている（インターネット調査）。

- 米穀機構が公表している「米の消費動向調査」（令和2年7月分）によると、1人1ヵ月当たりの精米消費量は、前年同月比+2.7%。
- このうち、家庭内での消費量は前年同月比+2.9%、中食・外食では+2.4%。

（1）1人1ヵ月当たり精米消費量



(精米g/人、%)

	精米消費量(g)					内訳比率(%)					前年同月比(%)				
	合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食		合計	家庭内		中・外食	
		家庭内	中食	外食	家庭内		中食	外食	家庭内	中食		外食			
平成24年度	4,909	3,351	1,558	900	658	100.0	68.3	31.7	18.3	13.4	1.4	4.4	▲4.4	▲3.1	▲6.1
25年度	4,466	2,993	1,473	846	627	100.0	67.0	33.0	18.9	14.0	▲9.0	▲10.7	▲5.5	▲6.0	▲4.7
26年度	4,554	3,216	1,338	758	580	100.0	70.6	29.4	16.6	12.7	2.0	7.5	▲9.2	▲10.4	▲7.5
27年度	4,386	3,027	1,360	793	567	100.0	69.0	31.0	18.1	12.9	▲3.7	▲5.9	1.6	4.6	▲2.2
28年度	4,663	3,212	1,451	852	599	100.0	68.9	31.1	18.3	12.8	6.3	6.1	6.7	7.4	5.6
29年度	4,603	3,262	1,341	777	564	100.0	70.9	29.1	16.9	12.3	▲1.3	1.6	▲7.6	▲8.8	▲5.8
30年度	4,426	3,100	1,326	782	544	100.0	70.0	30.0	17.7	12.3	▲3.8	▲5.0	▲1.1	0.6	▲3.5
令和元年度	4,626	3,114	1,512	885	627	100.0	67.3	32.7	19.1	13.6	4.5	0.5	14.0	13.1	15.3
令和2年 4月	5,085	3,609	1,476	1,095	382	100.0	71.0	29.0	21.5	7.5	3.3	11.6	▲12.7	11.8	▲46.2
5月	4,956	3,477	1,479	1,032	447	100.0	70.2	29.8	20.8	9.0	2.2	8.3	▲9.8	6.6	▲33.5
6月	4,807	3,308	1,499	969	531	100.0	68.8	31.2	20.2	11.0	4.2	5.9	0.5	11.9	▲14.9
7月	4,620	3,149	1,472	950	521	100.0	68.2	31.9	20.6	11.3	2.7	2.9	2.4	13.8	▲13.6

出典：米穀安定供給確保支援機構「米の消費動向調査結果」

注1：令和2年7月分の有効調査世帯数は1,953世帯。

2：平成24～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値である。

3：調査対象世帯の入れ替えや補充による調査結果の補正は行っていないため、調査結果の経年比較等の際には、留意が必要である。

4：家庭内消費量については、調査当月の月初と月末の精米在庫量及び精米購入数量から把握、中食・外食の消費量については、調査当月の家庭炊飯以外で食べた米飯の数量から推計。

5：集計に際しては、地域毎に世帯人員構成比が平成22年国勢調査「世帯人員構成比」に沿うよう調整した上で推計。

6：四捨五入の関係で合計と内訳が合わない場合がある。

- 精米購入時の動向について、入手経路は「スーパーマーケット」が最も多く、次いで「家族・知人などから無償で入手」、「インターネットショップ」の順となっている。
- 精米購入経路別の購入単価は、「米穀専門店」が最も高く、次いで「インターネットショップ」、「農協」の順となっている※。
※購入割合が有効調査世帯数の1%に満たない精米購入経路を除いた順である。
- 令和2年7月の家庭内の月末在庫数量は、6.2kgとなっている。

② 精米購入時の動向

(ア) 入手経路(複数回答)

(%)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	生協(店舗・共同購入含む)	農協(店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	家族・知人などから無償で入手	その他	
平成25年度	0.7	47.4	3.8	2.8	0.3	7.1	1.6	3.8	1.8	6.8	10.0	20.8	1.6	
平成26年度	1.2	48.7	4.1	2.4	0.2	8.2	1.5	3.5	2.0	6.7	8.7	19.5	2.6	
平成27年度	1.8	48.1	3.7	2.5	0.2	7.8	1.0	3.7	1.5	5.2	9.7	20.3	2.6	
平成28年度	1.5	49.7	3.7	2.8	0.5	8.1	1.5	2.7	1.8	6.2	9.6	17.2	3.2	
平成29年度	1.4	49.4	4.3	3.1	0.3	6.9	1.6	2.8	2.0	7.1	10.0	16.2	2.5	
平成30年度	1.4	52.7	4.8	2.8	0.2	6.5	1.2	2.7	2.2	6.0	9.8	14.8	2.3	
令和元年度	1.0	50.1	5.9	3.2	0.2	5.9	1.3	2.4	1.0	5.9	8.1	17.8	3.4	
令和2年	4月	0.5	52.5	5.2	4.1	0.1	6.3	1.5	2.4	0.9	4.3	10.0	13.3	5.2
	5月	1.3	51.0	5.5	4.4	0.3	6.8	1.0	2.7	1.0	4.4	10.3	13.5	4.4
	6月	0.9	48.8	6.6	5.3	0.0	5.9	1.2	2.3	1.4	5.0	9.5	14.0	3.8
	7月	1.3	54.6	4.7	4.1	0.3	6.6	1.3	2.0	0.9	5.2	8.2	12.3	4.1

注：1 平成25～令和元年度は各年4月から翌年3月までの平均値。
2 令和2年7月分の有効調査世帯数は1217世帯。

(イ) 精米購入経路別の購入単価(複数回答)

(円/kg)

	デパート	スーパーマーケット	ドラッグストア	ディスカウントストア	コンビニエンスストア	(生協) (店舗・共同購入含む)	(農協) (店舗・共同購入含む)	米穀専門店	産地直売所	生産者から直接購入	インターネットショップ	有効調査世帯数
令和元年度	618	399	355	323	※545	424	477	473	434	373	494	-
令和2年4月	※422	383	409	387	※506	445	385	456	※427	387	514	2,321
5月	521	413	360	341	※489	448	370	431	376	346	485	2,164
6月	※473	398	353	364	※1,500	475	420	447	401	353	486	2,049
7月	430	408	356	313	※312	419	435	552	※453	390	498	1,953

注：1 デパート、スーパーマーケット、生協は、実店舗の購入単価であり、インターネットを利用した購入は含まない。
2 購入単価は消費税を除く本体価格である。
3 表中の※付きの単価は、当該経路での購入割合が有効調査世帯数の1%に満たないため参考値とする。
4 令和元年度は4月から翌年3月までの平均値である。

(ウ) 家庭内の月末在庫数量

(kg/世帯、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	前年比
平成 26年度	月末在庫数量	6.8	6.8	6.5	6.3	6.5	6.8	7.3	7.5	7.8	7.1	6.8	6.6	6.9	3.0
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
27年度	月末在庫数量	6.0	6.2	6.2	6.3	6.4	6.6	6.9	7.1	7.3	7.1	6.8	6.6	6.6	▲4.3
	平均世帯人員	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.40	2.41	2.41	2.40	2.41	2.41	2.41	2.40	-
28年度	月末在庫数量	6.5	6.4	6.2	6.2	6.2	6.2	6.7	7.0	7.7	7.5	6.7	6.6	6.7	1.5
	平均世帯人員	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	2.41	-
29年度	月末在庫数量	6.1	6.2	5.9	6.0	6.0	6.1	6.7	6.8	7.0	6.9	6.4	6.4	6.4	▲4.5
	平均世帯人員	2.33	2.32	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
30年度	月末在庫数量	6.4	6.3	6.0	5.8	6.1	6.5	6.6	6.9	7.2	6.6	6.4	6.4	6.4	0.0
	平均世帯人員	2.32	2.32	2.32	2.33	2.33	2.33	2.32	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	-
令和 元年度	月末在庫数量	6.0	6.2	5.9	5.7	6.0	6.2	6.2	6.5	6.6	6.3	6.3	6.5	6.2	▲3.1
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.33	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.32	2.33	-
2年度	月末在庫数量	7.1	6.5	6.6	6.2									6.6	6.5
	平均世帯人員	2.33	2.33	2.33	2.33									2.33	-

注：1 地域ごとの世帯人員構成比が平成26～28年度はH22国勢調査、平成29～令和元年度はH27国勢調査「世帯人員構成比」に沿うようウェイトバック集計を実施した上で集計した。

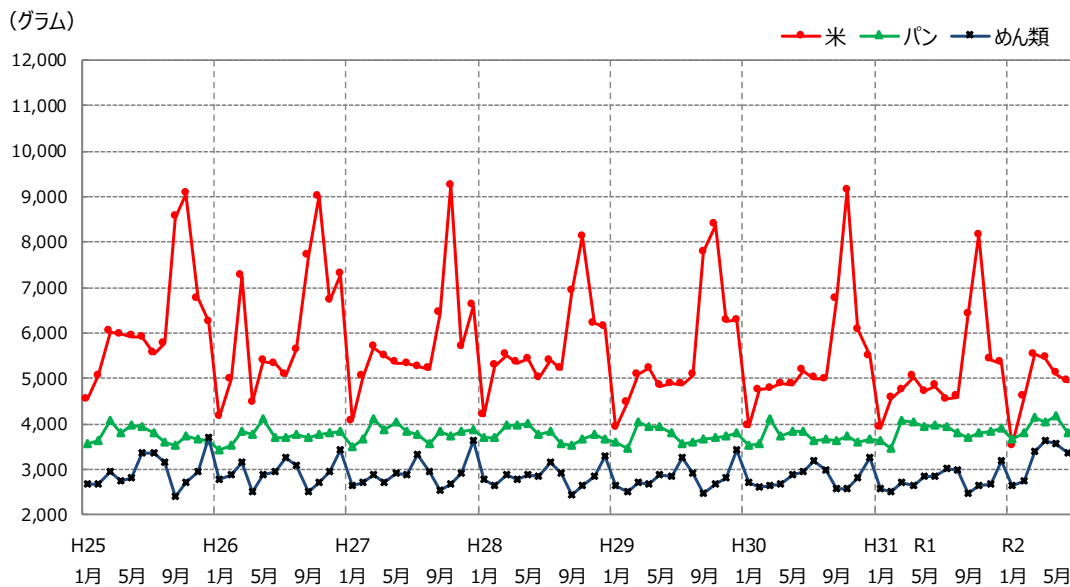
注：2 平均世帯人員は、各月の有効調査世帯の平均人員数である。

2 購入数量・支出金額の推移（家計調査）

家計調査、消費者物価指数、小売物価統計の累年データについては、総務省統計局HPから御覧いただけます。【 <https://www.stat.go.jp/data/index.html> 】

- 総務省が公表している家計調査によると、令和2年6月の米の購入数量は、対前年同月比+2.1%の4.9kg、パンは▲4.0%の3.8kg、めん類は+17.7%の3.4kg。

1 世帯当たり 1 か月間の購入数量の推移



(グラム)

	米		パン		めん類	
	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比	購入数量	前年（同月）比
平成25年	75,170	95.4%	44,927	100.3%	35,560	99.3%
26年	73,050	97.2%	44,926	100.0%	35,176	98.9%
27年	69,510	95.2%	45,676	101.7%	34,753	98.8%
28年	68,740	98.9%	45,099	98.7%	34,192	98.4%
29年	67,270	97.9%	44,840	99.4%	33,934	99.2%
30年	65,750	97.7%	44,526	99.3%	33,867	99.8%
令和元年	62,200	94.6%	46,011	103.3%	33,169	97.9%
9月	6,420	95.3%	3,693	101.3%	2,475	96.2%
10月	8,160	89.3%	3,806	102.3%	2,642	102.2%
11月	5,420	89.3%	3,830	106.3%	2,662	95.1%
12月	5,350	97.4%	3,892	106.5%	3,201	98.5%
令和2年 1月	3,520	90.0%	3,652	100.7%	2,629	102.0%
2月	4,600	100.9%	3,789	109.7%	2,751	109.5%
3月	5,540	116.9%	4,157	102.2%	3,382	124.3%
4月	5,440	108.2%	4,037	100.2%	3,637	138.0%
5月	5,110	108.5%	4,177	105.7%	3,578	124.9%
6月	4,940	102.1%	3,812	96.0%	3,351	117.7%

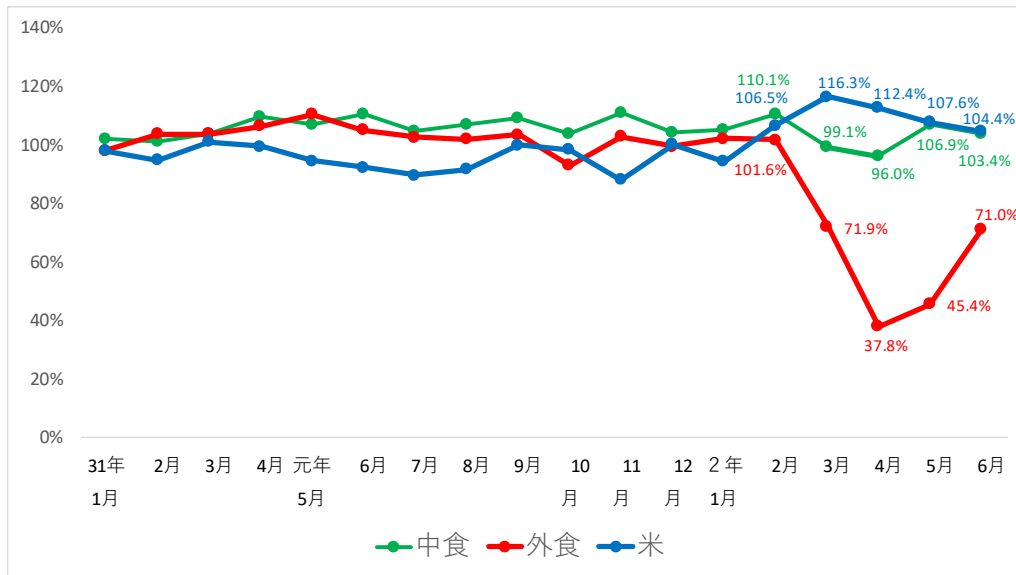
資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯

注1：平成25～令和元年は年間の購入数量・対前年比、令和2年は月間の購入数量・対前年同月比である。

注2：米は精米ベースである。

- 総務省が公表している家計調査によると、1世帯当たり1か月間の令和2年6月の中食の支出金額は、対前年同月比+3.4%、外食は▲29.0%。

1世帯当たり1か月間の支出金額の推移（前年同月比）



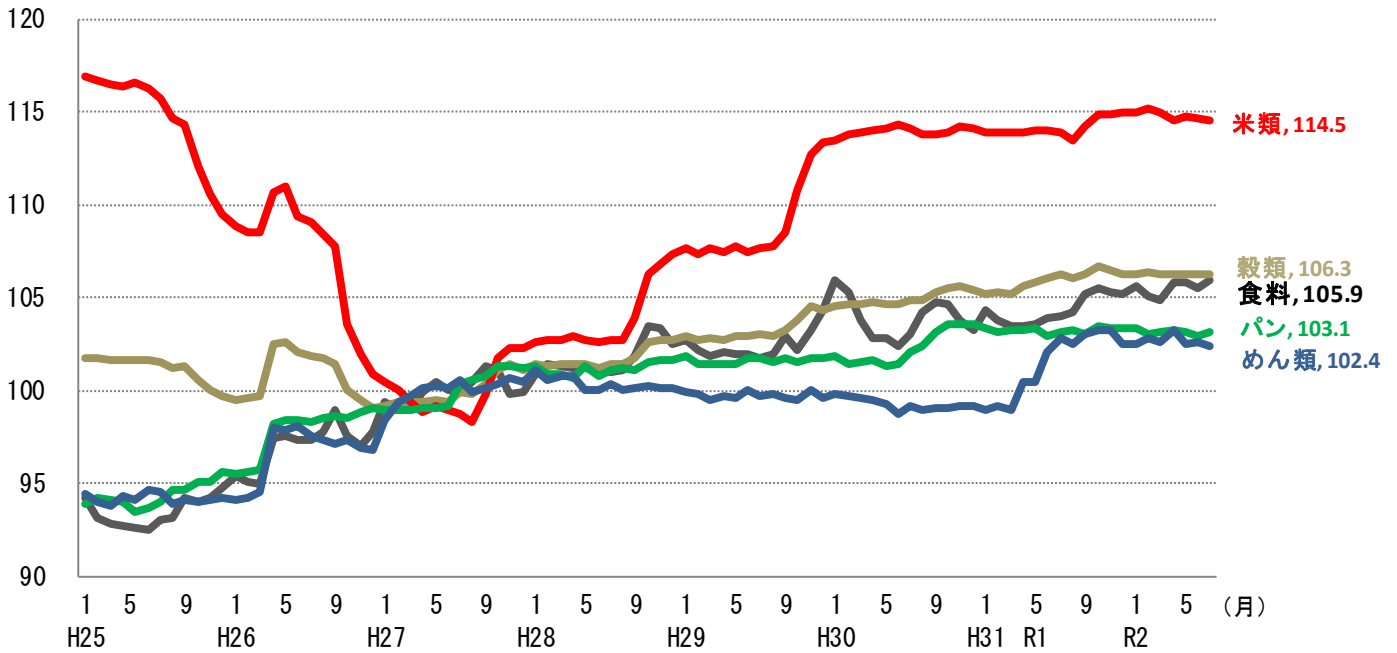
	穀類					中食					
	米	パン	麺類	他の穀類		弁当	すし(弁当)	おにぎり・その他	調理パン	他の主食的調理食品	
31年1月	99.8	97.7	102.7	97.4	97.9	101.8	100.2	103.6	99.4	97.9	103.8
2月	101.2	94.6	106.9	99.8	99.7	101.1	101.0	97.9	108.8	97.8	104.4
3月	104.4	100.9	105.7	106.2	105.6	103.8	102.2	103.3	106.9	102.1	105.9
4月	104.0	99.2	109.1	101.1	105.0	109.4	112.6	107.1	109.7	101.5	111.4
元年5月	101.5	94.3	106.3	103.0	99.4	106.8	109.2	102.1	111.1	103.4	108.9
6月	99.8	92.0	105.8	98.5	106.5	110.3	111.9	106.8	109.7	105.0	114.5
7月	100.4	89.4	111.1	97.3	101.2	104.4	106.2	102.6	107.3	105.6	102.6
8月	101.0	91.5	108.1	102.5	96.2	106.5	104.1	108.4	107.0	104.7	107.8
9月	99.7	99.7	101.1	98.0	97.6	108.8	109.9	109.5	111.3	106.0	107.5
10月	102.5	98.0	102.2	111.6	109.0	103.8	97.4	105.4	105.7	108.8	107.1
11月	98.5	87.8	103.8	105.0	102.3	110.6	104.4	111.8	113.6	113.1	114.6
12月	101.3	99.9	101.0	104.7	100.0	104.1	103.8	102.8	109.5	105.3	104.0
2年1月	98.8	94.1	99.3	102.9	100.2	104.9	102.0	105.9	116.7	102.6	104.2
2月	107.0	106.5	102.9	114.1	113.8	110.1	113.0	106.8	112.4	107.3	111.7
3月	110.6	116.3	96.5	127.6	124.8	99.1	90.1	100.8	87.7	94.4	113.9
4月	111.5	112.4	93.7	138.0	143.4	96.0	94.2	93.7	76.3	83.7	112.5
5月	110.4	107.6	98.9	127.9	140.8	106.9	116.5	106.4	82.0	94.3	111.2
6月	104.2	104.4	96.1	116.3	110.4	103.4	104.1	106.6	90.4	96.7	107.1

	外食										
	日本そば・うどん	中華そば	他の麺類	すし(外食)	和食	中華食	洋食	焼肉	ハンバーガー	他の主食的外食	
31年1月	97.8	99.4	114.3	114.7	97.6	96.2	100.4	89.6	89.2	106.0	98.2
2月	103.4	109.6	109.1	116.7	87.1	98.2	98.5	83.1	100.8	112.1	114.8
3月	103.6	110.0	113.3	104.9	88.1	99.5	105.9	88.9	96.5	130.8	110.7
4月	106.1	103.5	108.6	122.0	103.4	101.5	93.0	99.9	109.3	123.0	109.3
元年5月	110.2	118.4	110.4	128.4	100.2	113.9	90.0	98.3	123.0	112.9	113.1
6月	104.8	112.0	110.9	112.9	101.7	105.1	106.6	95.9	93.4	121.6	105.9
7月	102.4	103.3	112.4	125.8	96.9	106.7	106.9	93.6	84.8	106.2	103.7
8月	101.8	108.0	110.1	123.5	101.6	96.8	92.0	93.3	95.9	102.3	105.3
9月	103.3	119.0	109.8	121.6	117.9	96.8	85.0	92.4	101.3	115.0	103.2
10月	92.8	91.4	103.7	94.3	96.1	95.6	98.0	80.5	65.2	114.3	94.1
11月	102.7	102.3	120.0	120.8	98.6	100.2	101.4	95.0	106.8	109.8	103.3
12月	99.2	101.4	93.9	105.6	97.2	96.1	119.2	87.9	112.5	96.2	101.3
2年1月	101.9	112.3	99.5	88.1	96.7	100.6	99.8	93.2	111.4	102.3	105.5
2月	101.6	107.3	103.3	104.6	103.0	102.1	103.1	104.1	121.1	110.8	96.2
3月	71.9	74.6	77.0	68.7	79.3	75.0	66.5	62.1	77.3	97.5	67.8
4月	37.8	29.4	38.5	26.3	41.4	37.3	43.0	26.3	24.0	121.0	35.9
5月	45.4	34.0	48.8	36.2	60.6	45.8	60.2	37.3	35.8	141.4	38.2
6月	71.0	68.9	75.2	60.7	85.5	72.8	85.9	67.7	89.4	97.5	62.1

資料：総務省「家計調査」家計収支編 二人以上の世帯
注1：米は精米ベースである。

3 消費者物価指数の推移

- 総務省が公表している消費者物価指数によると、令和2年7月の米類の指数は対前年同月比 +0.5%の114.5ポイント。



(平成27年=100、指数)

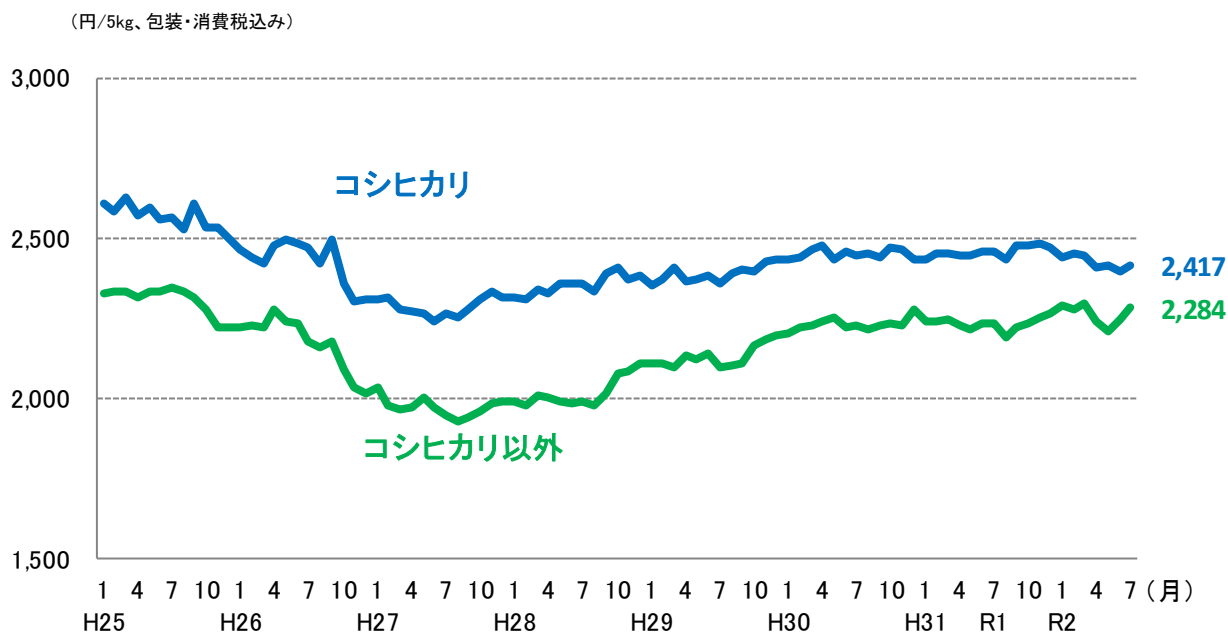
	食料		穀類		米類		うるち米		パン		めん類	
	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	対前年 (同月)比	
平成25年(平均)	93.4	▲0.1%	101.2	▲0.5%	114.6	2.0%	115.7	2.1%	94.4	▲1.9%	94.2	▲1.7%
26年(平均)	97.0	3.8%	100.8	▲0.4%	107.4	▲6.3%	107.9	▲6.8%	97.8	3.6%	96.6	2.6%
27年(平均)	100.0	3.1%	100.0	▲0.8%	100.0	▲6.9%	100.0	▲7.3%	100.0	2.2%	100.0	3.5%
28年(平均)	101.7	1.7%	101.7	1.7%	103.8	3.8%	104.0	4.0%	101.2	1.2%	100.3	0.3%
29年(平均)	102.4	0.7%	103.2	1.5%	108.8	4.8%	109.2	5.1%	101.6	0.4%	99.7	▲0.6%
30年(平均)	103.9	1.4%	104.9	1.7%	114.0	4.7%	114.6	5.0%	102.3	0.7%	99.3	▲0.5%
令和元年(平均)	104.3	0.5%	105.9	0.9%	114.2	0.2%	114.9	0.2%	103.2	0.9%	101.4	2.2%
令和2年 1月	105.6	1.2%	106.2	1.0%	114.9	0.8%	115.6	0.8%	103.3	0.0%	102.5	3.6%
2月	105.1	1.2%	106.4	1.1%	115.2	1.1%	115.8	1.0%	103.0	▲0.1%	102.8	3.6%
3月	104.9	1.4%	106.3	1.0%	114.9	0.9%	115.6	0.9%	103.1	▲0.1%	102.6	3.7%
4月	105.8	2.1%	106.3	0.7%	114.5	0.5%	115.0	0.4%	103.2	0.0%	103.2	2.8%
5月	105.8	2.1%	106.3	0.5%	114.7	0.6%	115.3	0.5%	103.1	▲0.1%	102.5	2.0%
6月	105.5	1.5%	106.2	0.2%	114.6	0.5%	115.2	0.4%	102.9	▲0.1%	102.6	0.5%
7月	105.9	1.8%	106.3	0.1%	114.5	0.5%	115.0	0.4%	103.1	0.0%	102.4	▲0.4%

資料：総務省「消費者物価指数」平成27年基準、品目別価格指数（全国）

- 注1：食料は、穀類以外にも、魚介類、肉類等を含んでいる。
 2：穀類は、米類（うるち米、もち米）、パン、めん類、他の穀類からなる。
 3：平成25年～令和元年のデータは年平均、令和2年は月次データである。

4 小売物価統計の推移

- 総務省が公表している小売物価統計によると、令和2年7月のうるち米の小売価格（5kg当たり）は、コシヒカリで対前年同月比▲1.7%の2,417円。
- コシヒカリ以外の銘柄の平均では、対前年同月比+2.3%の2,284円。



(円/5kg、包装・消費税込み)

年平均	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1
コシヒカリ	2,567	2,428	2,285	2,355	2,388	2,451	2,457
前年比	▲0.4%	▲5.4%	▲5.9%	3.1%	1.4%	2.6%	0.2%
コシヒカリ以外	2,307	2,173	1,973	2,019	2,132	2,232	2,234
前年比	3.8%	▲5.8%	▲9.2%	2.3%	5.6%	4.7%	0.1%

月次(令和2年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,439	2,455	2,443	2,407	2,416	2,395	2,417					
前年同月比	0.2%	0.1%	▲0.3%	▲1.5%	▲1.1%	▲2.6%	▲1.7%					
コシヒカリ以外	2,288	2,279	2,295	2,241	2,210	2,249	2,284					
前年同月比	2.1%	1.7%	2.3%	0.5%	▲0.3%	0.7%	2.3%					

月次(令和元年)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コシヒカリ	2,434	2,453	2,451	2,443	2,444	2,460	2,458	2,431	2,475	2,474	2,483	2,472
前年同月比	0.0%	0.6%	▲0.6%	▲1.3%	0.5%	0.0%	0.6%	▲0.9%	1.6%	0.0%	0.7%	1.6%
コシヒカリ以外	2,241	2,242	2,244	2,229	2,216	2,233	2,233	2,191	2,223	2,233	2,252	2,267
前年同月比	1.7%	0.9%	0.7%	▲0.5%	▲1.7%	0.5%	0.2%	▲1.2%	▲0.3%	▲0.1%	1.0%	▲0.4%

資料：総務省「小売物価統計」動向編

注：東京都区部における精米価格である（特売分を除く）。

5 米穀販売事業者における販売数量及び販売価格の動向

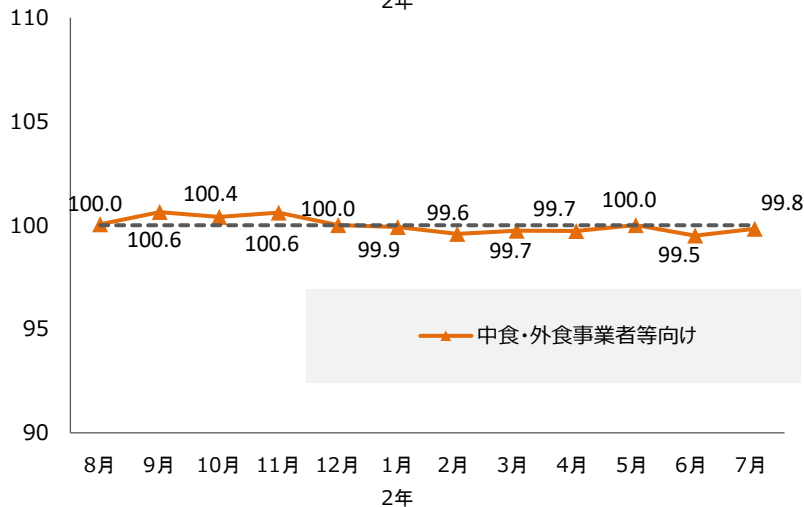
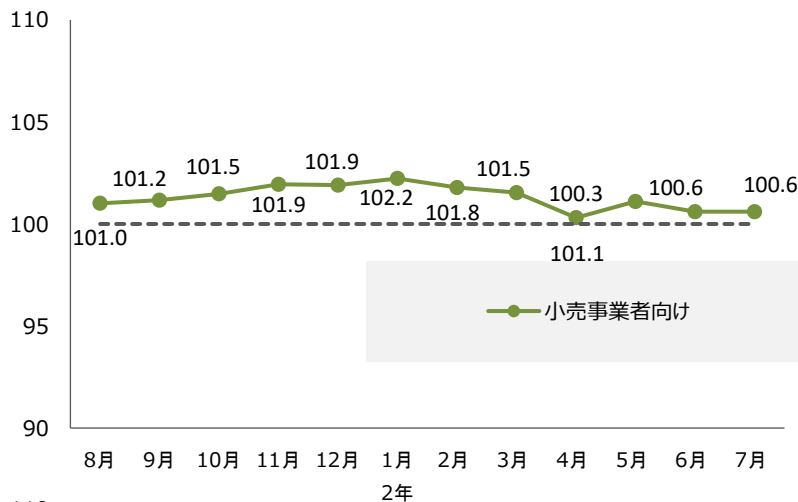
- 令和2年7月の販売数量(前年同月比)は、小売事業者向け103%、中食・外食事業者等向け86%で販売数量は95%となり、新型コロナウイルス感染症に伴う外出自粛要請等により家庭用の需要が一時的に高まったが、全体として見れば、昨年から米の需要は停滞している。特に直近の4、5月では、外食向けを中心に業務用の需要の減少が大きい。
- 前年同月を基準にした令和2年7月の販売価格の値動きは、小売事業者向け100.6、中食・外食事業者等向け99.8。

1 販売数量の動向（前年同月比）

	元年 8月	9月	10月	11月	12月	2年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
小売事業者向け	96%	101%	97%	99%	99%	101%	110%	124%	110%	95%	104%	103%
中食・外食事業者等向け	100%	97%	98%	95%	97%	98%	99%	89%	75%	76%	89%	86%
販売数量計	98%	99%	97%	97%	98%	100%	105%	108%	94%	86%	97%	95%

注：前月公表分までは、報告者からの対前年比の比率の割合により、整理していたが、元年6月公表から、販売数量（実数）と対前年の販売数量（実数）との比率としており、実数比較が可能となった元年6月分から数値を精査の上、遡及して整理。

2 販売価格の動向（前年同月の価格を基準にした値動き）



資料：農林水産省「米穀の取引に関する報告」

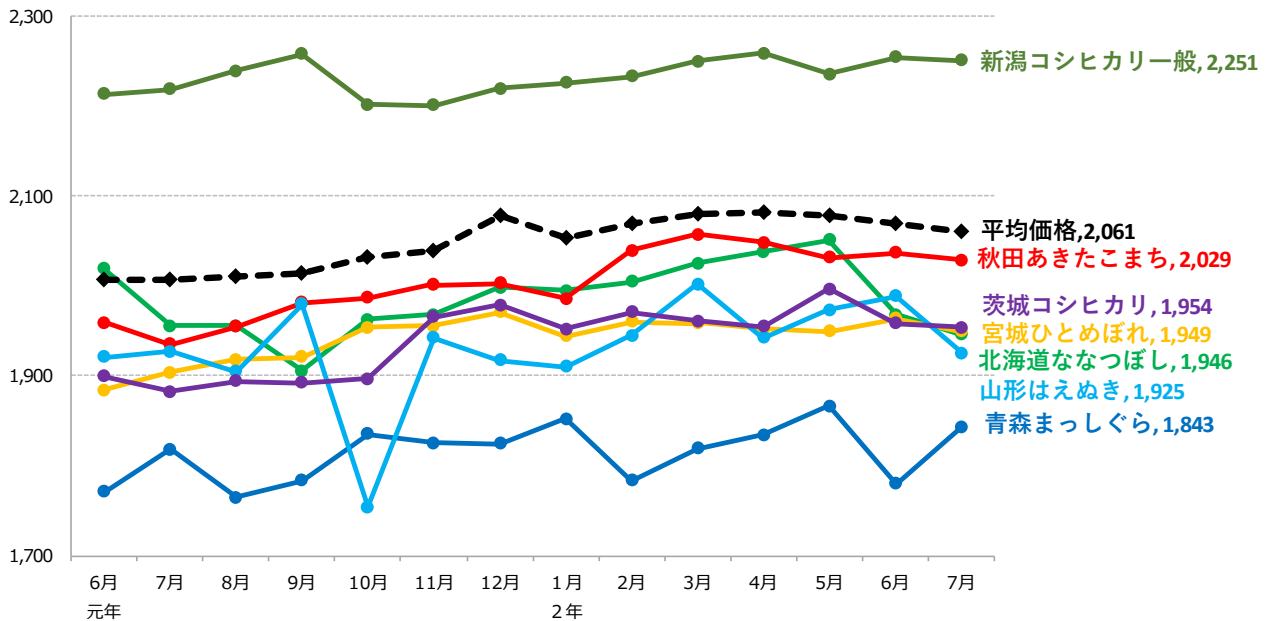
注1：報告対象事業者は、年間玄米仕入数量50,000ト以上の販売事業者である。

注2：上記の数値については、報告対象者が販売している精米の全体の価格・数量の動向を指数化したものであり、個別の取引や産地銘柄毎の動向を表すものではない。

注3：速報値であるため、公表後の数値修正が生じる場合がある。

- 令和2年7月の小売価格(POSデータ)の平均価格(5kg当たり)は、対前月比▲10円(▲0.4%)、対前年同月比+54円(+2.7%)の2,061円。

円/5kg袋販売時換算(税込)

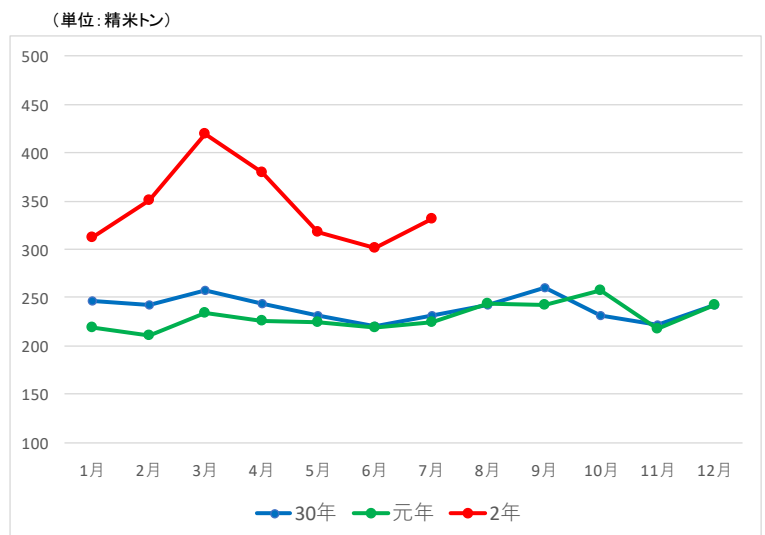


資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。
- 注4：全POS取引平均価格は、POSデータで把握できる全ての精米の販売について5kg袋販売時に換算した上で加重平均を行った価格である。
- 注5：価格に含む消費税は8%である。

【パックご飯の販売数量(精米換算)】

	(単位: 精米トン、%)			
	30年	元年 ①	2年 ②	対前年 同月比 ②/①
1月	246	219	313	143%
2月	243	211	351	166%
3月	257	234	420	179%
4月	244	226	380	168%
5月	232	225	318	141%
6月	221	219	302	138%
7月	231	225	331	147%
8月	243	244		
9月	260	242		
10月	232	257		
11月	222	217		
12月	242	243		



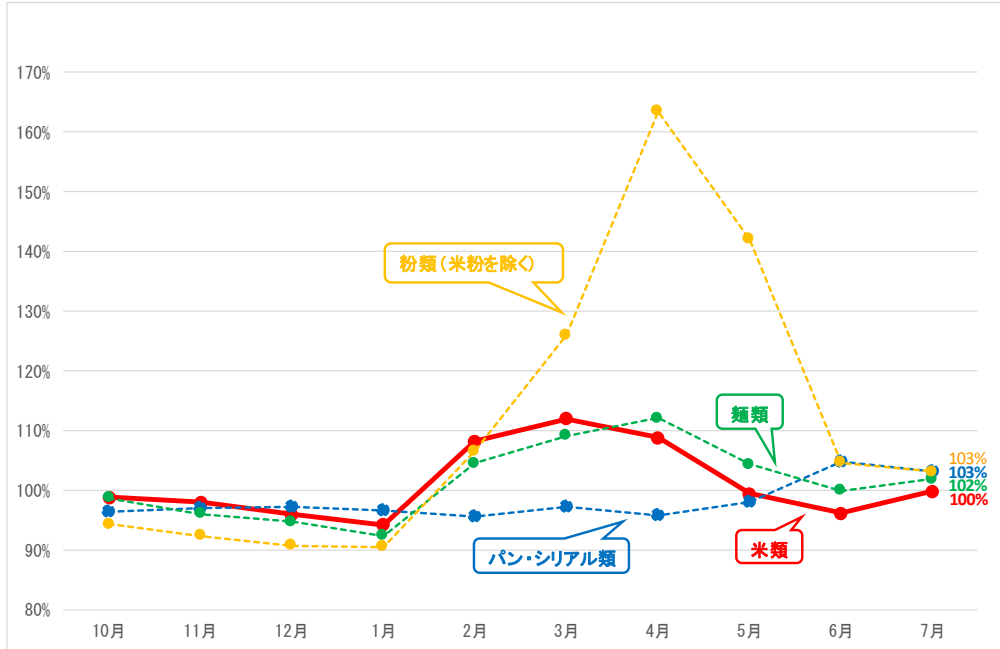
資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

- 注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。
- 注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。
- 注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

【 POSデータ 分類別販売個数 対前年同期比 】

新型コロナウイルスによる休校要請や外出自粛の要請を受け、米類の商品販売個数については、2月から4月の売上が大きく伸びた。

その後、4月下旬以降の販売個数は前年と同程度で推移している。



分類コード	分類名	主な分類基準	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
米類	米	精米、玄米、もち米	94%	99%	97%	97%	113%	113%	103%	96%	92%	96%
	包装餅	切り餅、板餅	99%	99%	95%	89%	106%	136%	165%	143%	113%	127%
	米飯加工品	無菌パックの白飯、レトルトタイプ、おかゆ、赤飯	108%	100%	100%	94%	113%	118%	115%	96%	94%	100%
	冷凍米飯加工品	チャーハン、ドリア、焼きおにぎり	105%	100%	94%	95%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
パン・シリアル類			96%	97%	97%	97%	96%	97%	96%	98%	105%	103%
食パン	食パン	食パン、クロワッサン、フランスパン	97%	98%	97%	97%	97%	99%	93%	94%	103%	103%
	菓子パン	果物、チョコレート、クリーム・ジャムを使用したパン	97%	97%	97%	97%	94%	95%	97%	99%	105%	103%
	調理パン	サンドウィッチ、カレーパン、ホットドック	95%	96%	99%	92%	100%	103%	104%	106%	111%	105%
	シリアル類	グラノーラ、コーンフレーク	94%	93%	103%	107%	83%	77%	73%	76%	88%	91%
麺類	インスタント袋麺	袋入りのインスタントラーメン、そば、うどん	100%	92%	94%	90%	100%	122%	128%	110%	97%	112%
	カップ麺	ラーメン、そば、うどん等の即席麺	101%	94%	93%	90%	105%	105%	102%	93%	98%	103%
	生麺・ゆで麺	生麺、ゆでうどん、中華そば、焼きそば	96%	99%	96%	94%	105%	109%	120%	115%	103%	100%
	スパゲッティ	乾スパゲッティ、ゆでスパゲッティ	100%	95%	95%	98%	121%	145%	161%	120%	96%	95%
	冷凍麺	冷凍パスタ、そば、うどんなどの種類	98%	99%	98%	98%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
粉類(米粉を除く)			94%	92%	91%	90%	107%	126%	163%	142%	105%	103%
小麦粉	強力粉、薄力粉、中力粉		92%	92%	89%	89%	108%	122%	169%	146%	96%	92%
	パン粉、生パン粉		90%	92%	92%	90%	102%	109%	120%	114%	97%	99%
	プレミックス	加糖ミックス(ホットケーキなどの素)、お好み焼き粉、たこ焼き粉	100%	93%	91%	92%	109%	141%	195%	164%	119%	116%
(参考)	味噌	ルータイプの味噌、出し入り味噌	93%	97%	94%	94%	97%	101%	107%	103%	100%	100%
	米粉	白玉粉、上新粉、だんご粉	93%	95%	96%	92%	105%	108%	176%	212%	116%	115%
	米菓	煎餅、あられ、おかき	93%	97%	94%	94%	97%	101%	107%	103%	100%	100%
	清酒		84%	93%	93%	91%	99%	95%	97%	102%	97%	101%
	焼酎乙類		82%	92%	92%	93%	100%	98%	102%	106%	99%	99%

資料：(株)KSP-SPが提供するPOSデータに基づいて農林水産省が作成

注1：(株)KSP-SPが提供するPOSデータは、全国約1,030店舗のスーパー、生協等から購入したデータに基づくものである。

注2：POSデータは、データ提供企業から遅れて報告されるものもあるため、時点によって集計結果に若干のずれが生じることがあり、今後、修正されることもある。

注3：POSデータの提供店舗数は、変動があることに留意が必要である。

注4：POSデータの販売個数は、商品容量にかかわらず販売された商品の個数を単純にカウントしたものであることに留意が必要である。

VI 輸出入の動向

輸入米の入札情報については、農林水産省ホームページの「政策統括官」の分野別分類「米(稲)・麦・大豆」、品目別分類「輸入米麦入札関連資料」で御覧いただけます。

【 <https://www.maff.go.jp/j/seisan/boueki/nyusatu/index.html> 】

1 MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）

（単位：千玄米トン）

	米 国	タイ	中 国	オーストラリア	その他	合 計	輸入方式別	
							うち一般輸入	うちSBS輸入※
平成7年度	194	107	32	87	5	426	415	11
平成8年度	233	144	40	87	6	511	488	22
平成9年度	290	151	46	95	13	596	537	55
平成10年度	313	152	78	109	29	681	551	120
平成11年度	339	159	86	115	24	724	591	120
平成12年度	356	168	99	120	24	767	632	120
平成13年度	364	146	136	110	11	767	655	100
平成14年度	361	153	112	96	44	767	710	50
平成15年度	355	153	110	90	51	759	647	100
平成16年度	361	185	98	20	103	767	661	94
平成17年度	362	186	84	19	116	767	655	100
平成18年度	358	179	76	52	102	767	654	100
平成19年度	358	243	82	-	13	696	585	100
平成20年度	430	261	72	-	6	769	658	100
平成21年度	358	332	71	-	5	767	655	100
平成22年度	356	345	19	40	6	767	725	37
平成23年度	358	241	56	71	40	767	658	100
平成24年度	362	281	46	64	13	767	656	100
平成25年度	359	351	1	41	15	767	700	61
平成26年度	359	332	55	14	6	767	754	12
平成27年度	359	344	56	1	6	767	734	29
平成28年度	376	375	3	7	7	767	685	73
平成29年度	365	264	56	74	8	767	655	100
平成30年度	359	316	69	14	8	767	701	59
令和元年度	360	306	83	0	17	767	681	77
令和2年度 (6月末現在)	-	10	-	-	-	10	10	-

資料：農林水産省「米をめぐる関係資料」
※SBS輸入数量の単位は千実トン。

- 注：1 各年度の輸入契約数量の推移。
2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しないことがある。
3 千実トンと千玄米トンのため合計は一致しないことがある。

(参考) MA米以外で、枠外税率を支払って輸入されるコメの数量は、毎年0.1~0.2千トン程度

2 加工原材料用に係る政府所有MA米の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

販売期間	うるち	販売期間	もち
令和2年4～6月分 （長期契約）	19,913	平成2年4～7月分	1,934
4月分 （月別契約）	340	令和2年8～11月分	
5月分 （月別契約）	606	令和2年12～令和3年3月分	
6月分 （月別契約）	738		
7～9月分 （長期契約）			
7月分 （月別契約）			
8月分 （月別契約）			
9月分 （月別契約）			
10～12月分 （長期契約）			
10月分 （月別契約）			
11月分 （月別契約）			
12月分 （月別契約）			
令和3年1～3月分 （長期契約）			
1月分 （月別契約）			
2月分 （月別契約）			
3月分 （月別契約）			
小 計	21,597	小 計	1,934
合計		23,531	

資料：農林水産省「加工原材料用に係る政府所有ミニマム・アクセス米の見積合わせ結果の概要について」

3 SBS輸入米の見積合わせ結果（令和元年度）

（単位：実トン）

		アメリカ		タイ		中国		オーストラリア		その他		合計
		うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	うるち	もち	
第1回 (令和元年9月27日)	一般米	5,252	276	40		80		260		501		6,409
	砕精米	2,200		200		100						2,500
	計	7,452	276	240		180		260		501		8,909
第2回 (令和元年10月30日)	一般米	4,944	140	761		280				941		7,066
	砕精米	1,800		700								2,500
	計	6,744	140	1,461		280				941		9,566
第3回 (令和元年11月22日)	一般米	5,023		1,132	126	420				297		6,998
	砕精米	2,200	100	200								2,500
	計	7,223	100	1,332	126	420				297		9,498
第4回 (令和元年12月20日)	一般米	2,442	340	1,344		200				230		4,556
	砕精米	2,000		300		200						2,500
	計	4,442	340	1,644		400				230		7,056
第5回 (令和2年1月22日)	一般米	4,333	360	288		100				1,058		6,139
	砕精米	2,116	100	500								2,716
	計	6,449	460	788		100				1,058		8,855
第6回 (令和2年2月7日)	一般米	3,498	1,120			100				1,831		6,549
	砕精米	2,300	200		500							3,000
	計	5,798	1,320		500	100				1,831		9,549
第7回 (令和2年2月25日)	一般米	4,856	360	392		120				589		6,317
	砕精米	2,334	200	300								2,834
	計	7,190	560	692		120				589		9,151
第8回 (令和2年3月10日)	一般米	2,589		478		240				4,912		8,219
	砕精米	4,260		160	100	220				1,000		5,740
	計	6,849		638	100	460				5,912		13,959
令和元年度計	一般米	32,937	2,596	4,435	126	1,540	0	260	0	10,359	0	52,253
	砕精米	19,210	600	2,360	600	520	0	0	0	1,000	0	24,290
	計	52,147	3,196	6,795	726	2,060	0	260	0	11,359	0	76,543
平成30年度計 (参考)	一般米	16,364	2,392	4,624	90	594	0	13,203	0	2,477	0	39,744
	砕精米	14,240	940	1,700	1,200	620	0	0	0	100	0	18,800
	計	30,604	3,332	6,324	1,290	1,214	0	13,203	0	2,577	0	58,544
平成29年度計 (参考)	一般米	45,841	2,976	3,506	90	1,580	0	27,863	0	2,007	0	83,863
	砕精米	8,966	1,000	2,012	360	660	0	2,839	0	300	0	16,137
	計	54,807	3,976	5,518	450	2,240	0	30,702	0	2,307	0	100,000
平成28年度計 (参考)	一般米	27,318	3,600	3,487	108	2,156	0	6,861	0	1,236	0	44,766
	砕精米	24,820	700	2,300	388	240	0	0	0	100	0	28,548
	計	52,138	4,300	5,787	496	2,396	0	6,861	0	1,336	0	73,314
平成27年度計 (参考)	一般米	4,251	3,458	2,762	72	76	0	1,285	0	959	0	12,863
	砕精米	10,940	1,260	2,420	1,022	660	0	0	0	150	0	16,452
	計	15,191	4,718	5,182	1,094	736	0	1,285	0	1,109	0	29,315
平成26年度計 (参考)	一般米	662	2,418	2,732	72	80	0	559	0	767	0	7,290
	砕精米	0	724	2,540	252	700	0	0	0	100	0	4,316
	計	662	3,142	5,272	324	780	0	559	0	867	0	11,606

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

4 CPTPP・国別枠の見積合わせ結果（令和2年度）

（単位：実トン）

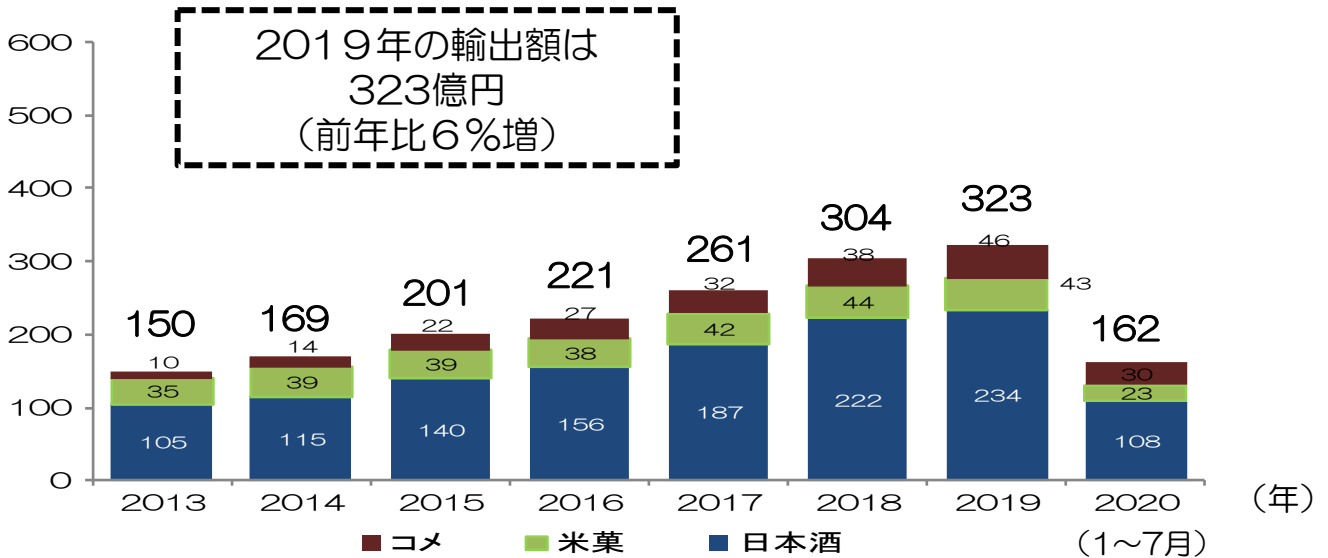
		オーストラリア	
		うるち	もち
第1回 （令和2年5月26日）	一般米		
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計		
第2回 （令和2年7月28・29日）	一般米	40	
	加工品・調製品		
	砕精米		
	計	40	
令和2年度計	一般米	40	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	0	0
	計	40	0
令和元年度計 （参考）	一般米	3,319	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	140	0
	計	3,459	0
平成30年度計 （参考）	一般米	1,000	0
	加工品・調製品	0	0
	砕精米	120	0
	計	1,120	0

資料：農林水産省「輸入米に係るSBSの結果の概要」

5 コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額について

- 2019年のコメ・コメ加工品の輸出額は323億円（前年比6%増）。
- うちコメの輸出は前年比23%増の46億円（数量では17,381トン、前年比26%増）。特に香港・シンガポール・米国・中国向けの輸出が大幅に増加。
- 2020年3月31日に閣議決定された新たな食料・農業・農村基本計画において、2030年の農林水産物・食品の輸出額目標を5兆円と設定。うちコメの輸出額は261億円が見込まれている。

(億円) コメ・コメ加工品の輸出状況



コメ・コメ加工品の輸出量及び輸出金額

品目名		2016年	2017年	2018年	2019年	2020年1~7月		(参考) 主な輸出先国
						数量	対前年同期比	
コメ・コメ加工品	数量(※)	24,135トン	28,340トン	31,741トン	34,851トン	19,032トン	-4%	米国 香港 中国 台湾 韓国 シンガポール
	金額	221億円	261億円	304億円	323億円	162億円	-14%	
コメ (援助米を除く)	数量	9,986トン	11,841トン	13,794トン	17,381トン	11,269トン	+23%	香港 シンガポール 米国 台湾 中国
	金額	27億円	32億円	38億円	46億円	30億円	+25%	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	3,567トン	3,849トン	4,053トン	4,033トン	2,221トン	-4%	米国 台湾 香港 シンガポール サウジアラビア
	原料米換算	3,032トン	3,272トン	3,445トン	3,428トン	1,887トン	-4%	
	金額	38億円	42億円	44億円	43億円	23億円	-4%	
日本酒 (清酒)	数量	19,737 キロリットル	23,482 キロリットル	25,747 キロリットル	24,928 キロリットル	10,431 キロリットル	-32%	米国 中国 香港 韓国 台湾 シンガポール
	原料米換算	11,117トン	13,227トン	14,502トン	14,041トン	5,876トン	-32%	
	金額	156億円	187億円	222億円	234億円	108億円	-23%	

資料:財務省「貿易統計」(政府による食料援助を除く。)
注:数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。

(1) 商業用の米の輸出数量及び金額の推移

2019年の商業用の米の輸出は、輸出数量が17,381トン（対前年比+26%）、輸出金額が約46億円（対前年比+23%）と、数量及び金額共に過去最高を記録。
2020年1～7月の商業用の米の輸出は輸出数量が11,269トン（対前年同期比+23%）、輸出金額が約30億円（対前年同期比+25%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1～7月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	7,640 (+69%)	2,234 (+88%)	9,986 (+31%)	2,709 (+21%)	11,841 (+19%)	3,198 (+18%)	13,794 (+18%)	3,756 (+17%)	17,381 (+28%)	4,620 (+23%)	11,269 (+23%)	3,031 (+25%)
香港	2,519	659	3,342	842	4,128	1,016	4,690	1,160	5,436	1,372	4,203 (+44%)	1,113 (+51%)
シンガポール	1,850	463	2,350	539	2,861	642	3,161	694	3,879	802	2,014 (-13%)	428 (+1%)
アメリカ	322	103	812	236	986	320	1,282	404	1,980	543	1,221 (-7%)	352 (+15%)
台湾	753	268	910	321	943	350	1,173	394	1,262	411	1,023 (+89%)	303 (+88%)
中国	568	291	375	163	298	97	524	211	1,007	363	544 (+27%)	166 (+3%)
オーストラリア	273	84	357	109	476	145	635	197	770	233	646 (+61%)	195 (+82%)
タイ	208	37	395	71	192	51	320	81	578	145	315 (-6%)	83 (+1%)
イギリス	189	60	326	98	695	191	422	121	450	131	270 (-9%)	76 (-9%)
ベトナム	142	15	74	16	101	33	118	37	213	65	77 (-13%)	22 (-18%)
ロシア	30	10	74	25	78	31	120	43	174	64	85 (+6%)	30 (+2%)
マレーシア	124	41	167	45	259	62	221	51	234	59	101 (-10%)	25 (-7%)
モンゴル	134	24	198	33	203	32	336	56	315	53	227 (+21%)	37 (+21%)
ドイツ	91	29	90	32	62	26	92	36	140	52	83 (+28%)	34 (+33%)
カナダ	85	23	96	29	92	28	138	43	158	51	111 (+35%)	34 (+19%)
フランス	33	14	39	16	61	27	78	32	93	40	50 (-6%)	22 (-9%)
フィンランド	1	0	1	1	2	1	47	11	183	40	122 (+185%)	27 (+178%)
オランダ	53	14	96	23	105	24	112	30	102	30	24 (-59%)	10 (-38%)
マカオ	30	12	39	17	38	18	65	27	62	26	22 (-41%)	10 (-37%)
インドネシア	80	17	97	30	72	26	1	2	90	25	—	—
アラブ首長国連邦	18	7	22	9	18	9	37	17	55	23	23 (-18%)	11 (-19%)
その他	137	62	126	54	171	70	222	110	200	91	108	52

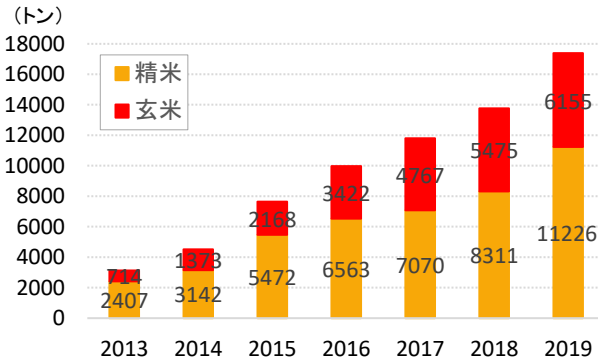
(参考)EU ※	397	135	574	180	943	283	800	253	1,050	326	340 (-41%)	116 (-39%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----	---------------	---------------

資料：財務省「貿易統計」（政府による食糧援助を除く。）
注1：（ ）内は対前年同期増減率である。
注2：数量1トン未満、金額20万円未満は計上されていない。
※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

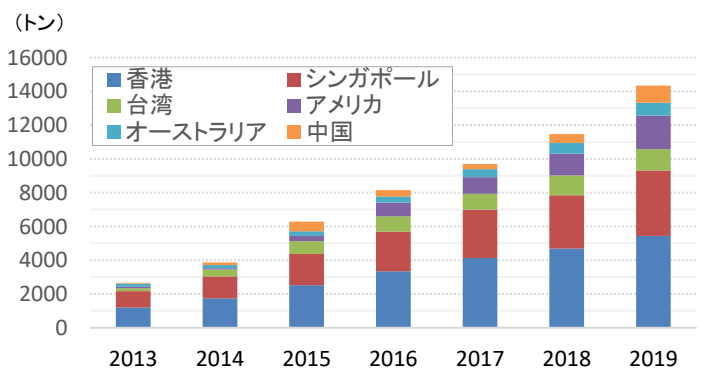
(2) 2019年の主な増加要因

- 全体として、日本食レストラン、寿司屋、おにぎり屋といった、日本産米を取り扱う
 外食・中食店向けの需要が好調。
- 香港、シンガポール、米国等においては、日本産米を玄米で輸出し、現地で精米して
 販売するビジネスが引き続き好調。
- 中国においては、日本食レストラン・現地系小売店の需要及びECサイト、中秋節・
 春節ギフト用の伸びにより、前年より著しく増加。

① 商業用の米の玄米・精米別輸出量の推移



② 商業用の米の主な国別輸出量の推移



香港 📈 5,436トン（前年比+16%） 1,372百万円（前年比+18%）

1人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。また現地系も含めて日本食レストランチェーン向け等に安定的に輸出が増加している。更に、現地系スーパー等での販売や日本産米を用いたおにぎり屋の店舗数拡大等により、ミドルレンジ層の需要が広がっている。

シンガポール 📈 3,879トン（前年比+23%） 802百万円（前年比+15%）

1人当たりGDPが高く、高所得層を中心に安定した需要がある。高級店だけでなく、チェーン店の日本食レストラン等向け需要が増加している。玄米で輸出し現地で精米して販売するビジネスの伸びが顕著で、2015年に玄米輸出が精米輸出を上回り、2019年は玄米輸出の割合が6割以上を占める。

アメリカ 📈 1,980トン（前年比+54%） 543百万円（前年比+34%）

米国産米の価格が上昇、日本産米との価格差が縮まったことにより、日系スーパー及び高級日本食レストランを中心に取り扱い店舗が増加。日本産米の輸出は西海岸が中心であったが、近年は健康志向の高所得者層向けに東海岸への輸出も増加。

中国 📈 1,007トン（前年比+92%） 363百万円（前年比+72%）

日本食レストランでの取扱増加に加え、小売では日本産米アンテナショップの出店や現地系小売店での取扱が増加。また、主要販売経路であるECサイトでの販売が好調なことや、高級品として中秋節・春節向けギフト用の伸びが著しいこと等が寄与。展示会にて日本産米をPRしたことや、SNSを使用した情報発信も輸出増加に寄与。

ロシア 📈 174トン（前年比+45%） 64百万円（前年比+50%）

大手スーパーだけでなく、モスクワ市内の日本食レストランにも日本産米を導入される動きがある。

フィンランド 📈 183トン（前年比+289%） 40百万円（前年比+263%）

大手スーパーの持ち帰り寿司に日本産米が導入。

(3) 米菓の輸出数量及び金額の推移

2019年の米菓の輸出は、輸出数量が4,033トン（対前年比±0%）、輸出金額が約43億円（対前年比-3%）と、数量及び金額共に前年から減少。
2020年1～7月の米菓の輸出は、輸出数量が2,221トン（対前年同期比-4%）、輸出金額が約23億円（対前年同期比-4%）。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1～7月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	3,679 (+8%)	3,869 (+2%)	3,567 (-3%)	3,808 (+2%)	3,849 (+1%)	4,186 (+8%)	4,053 (+3%)	4,425 (+8%)	4,033 (-5%)	4,306 (-3%)	2,221 (-4%)	2,349 (-4%)
アメリカ	797	794	897	878	1,067	1,062	1,112	1,134	1,100	1,122	586 (-10%)	586 (-10%)
台湾	895	921	868	909	731	758	830	878	854	894	509 (+9%)	543 (+10%)
香港	664	826	578	725	520	660	629	744	603	724	346 (+3%)	402 (+3%)
シンガポール	239	264	202	250	200	269	208	268	209	243	106 (-4%)	121 (+8%)
サウジアラビア	242	146	122	69	170	98	279	176	258	161	180 (+2%)	114 (+1%)
中国	78	86	52	55	62	84	61	123	87	160	50 (+32%)	90 (+18%)
韓国	98	146	161	230	326	489	229	338	119	156	30 (-72%)	35 (-75%)
ベトナム	25	33	50	51	42	76	55	112	75	155	43 (+8%)	93 (+13%)
オーストラリア	159	143	160	139	173	144	121	106	127	111	73 (-2%)	60 (-9%)
タイ	45	68	37	53	40	57	44	60	62	83	40 (+10%)	54 (+9%)
オランダ	126	111	113	106	127	111	81	87	58	61	28 (-23%)	31 (-20%)
カナダ	27	32	25	28	31	37	31	37	35	42	19 (+5%)	22 (+5%)
マレーシア	14	17	26	29	25	31	25	29	39	41	26 (+75%)	28 (+87%)
ブラジル	40	36	40	35	43	41	37	38	40	41	15 (-26%)	15 (-26%)
ブルガリア	49	14	38	9	98	27	103	31	149	40	65 (-6%)	17 (-3%)
イギリス	24	28	23	29	21	26	18	22	21	32	10 (+15%)	17 (+25%)
フィリピン	9	11	21	24	19	19	23	22	27	27	14 (-6%)	13 (-6%)
北マリアナ諸島	19	27	17	22	22	28	20	25	19	25	9 (-14%)	13 (-18%)
グアム	19	23	22	24	16	21	19	23	19	24	11 (-6%)	14 (-6%)
アラブ首長国連邦	21	33	21	32	20	30	19	28	16	23	6 (-48%)	9 (-44%)
その他	90	110	96	109	95	119	112	144	117	142	55	71

(参考)EU ※	235	200	223	193	277	206	240	189	267	183	114 (-14%)	77 (-23%)
----------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---------------	--------------

資料：財務省「貿易統計」
注：()内は対前年同期増減率である。
※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(4) 日本酒(清酒)の輸出数量及び金額の推移

2019年の日本酒の輸出は輸出数量が24,928キロリットル(対前年比-3%)、輸出金額が約23億円(対前年比+5%)と、数量は減少したものの、金額は過去最高を記録。2020年1~7月の日本酒の輸出は、輸出数量が10,431キロリットル(対前年同期比-32%)、輸出金額が約10.8億円(対前年同期比-23%)。

	2015年		2016年		2017年		2018年		2019年		2020年 (1~7月)	
	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円	数量 キロリットル	金額 百万円
輸出合計	18,180 (+11%)	14,011 (+22%)	19,737 (+9%)	15,581 (+13%)	23,482 (+18%)	18,679 (+20%)	25,747 (+10%)	22,232 (+19%)	24,928 (-3%)	23,412 (+5%)	10,431 (-32%)	10,795 (-23%)
アメリカ	4,780	4,997	5,108	5,196	5,780	6,039	5,952	6,313	6,452	6,757	2,724 (-31%)	2,651 (-33%)
中国	1,576	1,172	1,910	1,449	3,341	2,660	4,146	3,587	5,145	5,001	2,156 (-28%)	2,340 (-18%)
香港	1,745	2,282	1,877	2,630	1,807	2,799	2,097	3,774	1,926	3,943	1,400 (+17%)	2,836 (+20%)
韓国	3,367	1,364	3,695	1,562	4,798	1,864	5,351	2,212	2,912	1,360	593 (-78%)	403 (-68%)
台湾	2,112	890	2,096	931	1,985	948	2,238	1,351	2,246	1,359	1,080 (-7%)	649 (-7%)
シンガポール	437	526	509	601	530	691	610	837	609	857	262 (-25%)	376 (-20%)
カナダ	553	345	576	381	711	486	684	529	715	548	330 (-12%)	233 (-18%)
オーストラリア	358	310	409	362	444	396	502	446	483	439	229 (-12%)	209 (-13%)
ベトナム	339	248	390	287	376	267	462	440	437	376	89 (-51%)	65 (-60%)
イギリス	252	260	317	323	388	348	298	324	352	373	121 (-42%)	118 (-48%)
フランス	151	140	169	196	266	267	274	276	270	285	105 (-28%)	104 (-31%)
タイ	503	230	461	240	472	252	604	300	627	276	262 (-29%)	109 (-26%)
ドイツ	401	162	388	179	368	167	367	203	477	242	210 (-17%)	106 (-22%)
マレーシア	213	181	223	201	289	265	283	244	253	242	113 (-4%)	84 (-31%)
マカオ	21	61	25	79	34	150	52	207	39	156	21 (-10%)	43 (-58%)
オランダ	205	130	183	108	276	144	223	161	247	142	139 (-1%)	80 (-9%)
イタリア	249	111	322	114	386	139	312	130	339	129	132 (-31%)	51 (-31%)
ブラジル	184	88	184	93	219	109	207	93	248	119	80 (-48%)	41 (-48%)
スペイン	70	43	82	57	154	110	153	98	130	75	46 (-49%)	31 (-41%)
メキシコ	35	31	49	52	50	48	67	63	67	74	18 (-51%)	14 (-65%)
その他	629	441	767	540	808	529	864	642	951	661	322	251
(参考)EU ※	1,475	961	1,605	1,085	2,009	1,311	1,809	1,334	2,023	1,421	748 (-35%)	475 (-41%)

資料：財務省「貿易統計」
注1：()内は対前年同期増減率である。
注2：数量1キロリットル未満、金額20万円未満は計上されていない。
※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

(5) 包装米飯(パックご飯)等の輸出数量及び金額の推移

2019年の包装米飯等の輸出は輸出数量が1,018トン(対前年比+10%)、輸出金額が約5億円(対前年比+8%)と、数量及び金額共に過去最高を記録。
2020年1~7月の包装米飯等の輸出は輸出数量が681トン(対前年同期比+13%)、輸出金額が約4億円(対前年同期比+23%)。

	2017年		2018年		2019年		2020年 (1~7月)	
	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円	数量 トン	金額 百万円
輸出合計	658	344	923 (+40%)	473 (+38%)	1,018 (+10%)	513 (+8%)	681 (+13%)	365 (+23%)
アメリカ	338	132	407	159	442	167	258	98
ベトナム	69	54	92	73	82	79	37	40
香港	35	25	79	51	130	77	128	83
台湾	33	28	58	36	105	56	83	47
中国	8	6	20	14	96	42	40	27
タイ	29	14	40	17	63	27	57	25
シンガポール	21	19	31	24	21	17	32	16
韓国	67	33	149	72	31	17	4	3
イギリス	8	4	10	4	9	4	8	4
フィリピン	1	0	1	0	4	4	2	2
インドネシア	6	4	4	3	5	4	8	5
カナダ	1	0	5	4	6	3	3	1
オランダ	2	1	5	3	4	3	2	2
マカオ	0	0	0	0	3	3	1	2
メキシコ	6	3	5	3	5	3	4	3
オーストラリア	19	12	1	1	3	2	4	2
フランス	1	1	3	2	3	2	1	0
ドイツ	0	1	-	-	0	1	0	1
カンボジア	4	3	1	1	2	1	-	-
マレーシア	-	-	-	-	1	1	6	3
その他	12	4	12	5	2	2	4	1
(参考)EU ※	11	7	18	9	17	11	8	5

資料:財務省「貿易統計」

注1:()内は対前年同期増減率である。

注2:包装米飯、その他加工米飯のほか、加熱またはその他の調製をした調製食料品のうち米のものを集計。(2017年1月から単独のコードとして独立。)

※EUは2020年2月以降の統計からイギリス分が除かれている。

6 コメ・コメ加工品の輸出をめぐる状況と対応方向について

輸出拡大に向けた対応方向

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、精米だけでなく、包装米飯・日本酒・米菓も含めたコメ加工品の輸出に力を入れることとしている。

【コメ（包装米飯含む）】

現地での精米の取組や炊飯ロボットと合わせた外食への販売など、日本米のプレゼンスを高める取組を推進。

★重点国

新興市場：台湾、豪州、EU、ロシア、中国、米国等

安定市場：香港、シンガポール

〈主な取組（令和元年度）〉

○米国のホテルレストランや飲食店オーナー、ディストリビューター等を招聘し、産地視察や輸出業者とのビジネスマッチングを実施。

【米菓】

相手国のニーズに合った商品の開発、手軽なスナックとしてのプロモーション強化。

★重点国

新興市場：中東、中国、EU

安定市場：台湾、香港、シンガポール、米国

〈主な取組（令和元年度）〉

○北米で開催される展示会への出展及び現地小売店と連携したプロモーション・テスト販売を実施。

【日本酒】

発信力の高い都市や重点市場でのイベント・事業を実施するほか、セミナー等を通じて、日本酒の良さについて普及。日本酒の生産増に対応した酒造好適米の増産が可能となるよう措置。

★重点国

新興市場：EU、台湾、中国、ブラジル、ロシア、韓国

安定市場：米国、香港

〈主な取組（令和元年度）〉

○中国・北京において、一般消費者による日本酒の品評会（Sake-China）を開催。

輸出拡大に向けた取組

コメ・コメ関連食品の輸出拡大のため、他の品目に先がけて、オールジャパンでコメ・コメ関連食品の輸出を促進する全国団体（全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会）を平成26年11月27日に立ち上げ、統一ロゴマークの開発・発表、海外でのPRイベント等を開催。

〈日本産米輸出の統一ロゴマーク〉



THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。



VII 主食用米以外の情報

1 加工用米及び新規需要米等の生産状況

(1) 加工用米の生産量

(単位:トン)

			合計	(参考)	
	うるち米	もち米		全国流通	地域流通
平成17年産	123,996	4,738	128,734	127,160	1,574
18年産	140,596	7,996	148,592	146,529	2,064
19年産	152,145	10,659	162,804	160,670	2,134
20年産	138,895	10,154	149,048	142,803	6,246
21年産	134,389	6,779	141,168	122,771	18,397
22年産	190,883	21,945	212,829	134,958	77,870
23年産	122,699	31,856	154,555	46,087	108,468
24年産	148,695	32,190	180,885	65,821	115,064
25年産	178,411	29,471	207,882	82,534	125,348
26年産	232,315	34,053	266,368	110,914	155,455
27年産	205,448	47,739	253,186	95,747	160,771
28年産	219,454	58,943	278,397	99,972	178,367
29年産	215,531	63,532	279,063	100,249	183,755
30年産	221,580	52,611	274,191	117,617	165,185
令和元年産	206,393	50,146	256,540	100,798	155,741

資料: 農林水産省「加工用米生産量」

注:1 「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」の規定により報告された生産集出荷数量。ただし、元年産は計画数量。

注:2 参考の全国流通は、取組主体が全国生産出荷団体であるもの。地域流通は、取組主体が都道府県出荷団体、認定方針作成者及び農業者であるものの合計。

注:3 参考の27年産以降は、認定計画ベースの値。このため、合計(実績値)と一致しない。

注:4 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(2) 新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移

(単位:トン、ha)

	新規需要米		米粉用米		飼料用米		WCS用稲 (稲発酵粗飼料用稲)	新市場開拓用米 (輸出用米等)		酒造用米		バイオエタノール用米		その他 (わら専用稲・青刈り用稲)	
	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量	面積	生産量
20年産	12,314	12,386	108	566	1,410	8,020	9,089	74	391	—	—	303	2,426	1,330	982
21年産	18,142	40,654	2,401	13,041	4,123	23,264	10,203	164	926	—	—	295	2,314	956	1,108
22年産	37,072	114,851	4,957	27,796	14,883	81,237	15,939	388	2,184	—	—	397	2,940	508	694
23年産	65,569	228,820	7,324	40,311	33,955	183,033	23,086	287	1,626	—	—	415	2,998	501	852
24年産	68,091	224,127	6,437	34,521	34,525	183,431	25,672	454	2,524	—	—	450	2,793	553	857
25年産	53,744	142,499	3,965	21,071	21,802	115,350	26,600	507	2,825	—	—	414	2,594	457	659
26年産	71,073	210,540	3,401	18,161	33,881	178,486	30,929	1,092	6,092	859	4,354	384	2,373	527	1,074
27年産	125,454	459,596	4,245	22,925	79,766	421,077	38,226	1,547	8,482	1,387	7,096	—	—	283	15
28年産	139,028	515,200	3,428	18,454	91,169	481,468	41,366	1,437	7,950	1,420	7,309	—	—	207	19
29年産	142,738	526,461	5,307	28,331	91,510	483,325	42,893	1,328	7,349	1,448	7,424	—	—	252	31
30年産	131,048	468,593	5,295	28,065	79,535	420,667	42,545	3,578	19,862	—	—	—	—	96	—
元年産	124,477	433,907	5,306	27,975	72,509	383,443	42,450	4,097	22,488	—	—	—	—	114	—

資料: 農林水産省「新規需要米等の用途別作付・生産状況の推移(平成20年産～令和元年産)」

注1: 平成20・21年産の生産量は取組計画認定ベース。

注2: 令和元年産は令和元年10月15日現在の値。

注3: 「WCS用稲」及び「その他」のうち、わら専用、青刈り用稲については子実を採らない用途であるため生産量を取りまとめていない。

注4: 「酒造用米」は、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」(以下「要領」)に基づき生産数量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

注5: 平成30年産以降の「バイオエタノール用米」は、要領の改正により「新市場開拓用米」に含まれている。

注6: 「-」は、事実がない又は認定及び取りまとめを行っていないことを表す。また、ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 令和元年産 都道府県別の生産状況

(単位:トン)

産地	加工用米		新規需要米				政府備蓄米	合計	
	うるち米	もち米	飼料用米	新市場開拓用米	米粉用米				
全国	256,540	206,393	50,146	433,907	383,443	22,488	27,975	185,314	875,760
北海道	27,434	19,128	8,306	14,631	11,069	3,296	267	2,162	44,227
青森	7,176	6,710	466	28,578	27,777	767	33	26,544	62,297
岩手	7,103	5,529	1,574	21,077	19,789	962	327	3,478	31,659
宮城	4,506	3,826	679	28,705	25,878	2,443	383	11,600	44,811
秋田	48,861	31,010	17,851	12,552	8,931	1,433	2,188	21,572	82,985
山形	22,264	20,900	1,364	22,426	20,654	1,015	757	21,291	65,981
福島	2,478	2,444	34	24,197	23,819	367	11	26,601	53,276
茨城	6,809	6,670	140	42,630	40,417	2,124	89	700	50,139
栃木	11,397	11,383	14	48,815	45,021	289	3,506	7,487	67,700
群馬	7,367	7,367		6,665	4,936	68	1,661	30	14,062
埼玉	1,222	1,217	5	9,905	6,043	145	3,718	220	11,347
千葉	8,480	4,830	3,650	21,847	21,595	75	177	1,580	31,907
東京				0			0		0
神奈川				55	52		3		55
新潟	31,188	21,556	9,632	24,069	12,016	4,274	7,779	25,089	80,346
富山	6,757	5,584	1,173	9,040	7,057	1,510	473	12,197	27,994
石川	2,907	2,502	405	3,859	2,915	285	660	7,325	14,092
福井	2,850	2,555	295	7,273	6,020	835	418	4,050	14,173
山梨	366	366		124	84		40		491
長野	4,594	4,273	322	2,060	1,488	425	146	1,426	8,081
岐阜	4,394	4,393	1	11,510	11,015	365	130	435	16,340
静岡	666	666		5,906	5,830	7	69	20	6,592
愛知	3,416	3,292	124	6,846	6,385	104	358	822	11,084
三重	1,056	1,001	54	8,843	8,034	333	477	248	10,147
滋賀	5,064	4,679	385	5,955	4,934	874	147	1,318	12,337
京都	2,612	2,604	8	623	495	93	35		3,236
大阪	2	2		56	31		25		58
兵庫	3,563	3,358	205	1,696	1,559	16	121		5,259
奈良	102	102		288	157		131		390
和歌山				14	12		2		14
鳥取	99	99		3,574	3,572		2	400	4,073
島根	1,571	1,468	103	4,187	4,122	13	52	130	5,888
岡山	2,008	1,921	87	6,132	5,679	18	435	977	9,117
広島	1,873	1,833	41	2,352	1,761		591		4,225
山口	4,714	4,637	77	4,555	4,477	3	74		9,269
徳島	81	81		2,395	2,218	112	65	1,116	3,593
香川	221	221		663	603	11	49		884
愛媛	206	206		1,437	1,417		20		1,643
高知	316	316		3,958	3,893		65	10	4,284
福岡	1,115	927	188	10,645	9,565	33	1,046	264	12,024
佐賀	2,018	248	1,770	2,951	2,850	28	74	220	5,189
長崎	47	47		650	620		30	10	707
熊本	3,763	2,637	1,125	7,349	6,111	82	1,156	247	11,359
大分	672	672		6,995	6,946		49	94	7,760
宮崎	7,390	7,390		2,281	2,102	84	95		9,671
鹿児島	5,792	5,724	68	3,536	3,497		40		9,328
沖縄	19	19							19

資料：農林水産省「令和元年産加工用米の都道府県別の取組計画認定状況」（確定値）、「令和元年産新規需要米の都道府県別の取組計画認定状況」（確定値）、「国内産政府備蓄米の買入入札の結果」（令和元年産）

注：1 政府備蓄米の合計は、買入対象米穀の産地の指定無し分5,651トンを含んでいる。

注：2 ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

2 米加工品の状況

(1) 主な米加工品の生産状況

(トン)

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	
						(1~6月)	対前年同期比
加工米飯	349,424	346,708	373,142	390,170	398,750	207,225	109%
レトルト米飯	30,685	27,856	27,807	28,163	27,474	14,060	118%
無菌包装米飯	136,886	145,326	161,068	170,218	182,797	100,037	115%
冷凍米飯	171,501	163,017	174,025	181,559	178,068	88,772	103%
チルド米飯	4,765	4,916	4,832	4,845	4,520	1,838	85%
缶詰米飯	1,094	543	526	553	526	207	72%
乾燥米飯	4,493	5,050	4,884	4,832	5,365	2,311	91%
米菓	220,350	217,687	222,868	221,481	221,796	111,917	102%
あられ	94,995	92,310	92,200	93,504	92,259	46,675	104%
せんべい	125,355	125,377	130,668	127,977	129,537	65,242	101%
味噌	461,652	476,057	482,045	478,068	481,574	229,329	99%
米みそ	393,554	408,695	413,492	408,093	412,038	195,499	99%
麦みそ	18,060	18,574	17,399	16,166	15,555	8,037	112%
豆みそ	23,730	23,113	24,869	25,326	26,031	11,250	93%
調合みそ	26,308	25,675	26,285	28,483	27,950	14,543	103%
米穀粉	94,651	92,693	94,860	93,956	91,179	47,296	104%
上新粉	46,260	46,377	47,257	45,643	43,345	21,655	98%
もち粉	11,583	10,755	9,592	9,663	9,406	4,189	94%
白玉粉	4,974	4,992	5,246	4,821	4,742	2,269	104%
寒梅粉	1,468	1,606	1,535	1,534	1,560	757	97%
らくがん粉・みじん粉	1,007	971	945	984	1,120	541	96%
だんご粉	962	1,543	1,166	1,310	1,159	547	100%
菓子種	2,448	1,756	2,419	2,506	2,508	1,396	114%
新規米粉	25,949	24,693	26,700	27,495	27,339	15,942	116%
包装もち	58,950	63,096	58,653	59,536	60,894	23,707	115%
日本酒	555,063	539,676	532,862	495,052	466,872	180,820	87%
特定名称酒	173,327	177,735	179,491	170,642	164,641	59,119	81%
吟醸酒	25,213	24,499	24,395	23,126	22,240	7,375	80%
純米吟醸酒	37,124	41,960	45,300	45,377	45,491	16,871	82%
純米酒	61,793	65,379	67,060	63,998	61,799	23,783	84%
本醸造酒	49,198	45,897	42,736	38,141	35,111	11,090	73%
一般酒	381,736	361,941	353,371	324,410	302,231	121,701	90%
単式蒸留焼酎	483,216	479,866	471,512	441,824	424,569	190,566	95%
いも焼酎	206,904	208,262	205,336	189,979	182,169	83,693	96%
麦焼酎	188,896	186,998	183,903	176,608	171,222	78,377	98%
米焼酎	41,804	40,560	38,549	36,362	34,531	14,297	88%

資料：加工米飯、米菓、味噌、米穀粉及び包装もちは、食品産業動態調査（農林水産省）。日本酒及び単式蒸留焼酎は、日本酒造組合中央会調べ。

注1：日本酒及び単式蒸留焼酎は、課税移出数量。

注2：日本酒の一般酒は、日本酒全体から特定名称酒の数量を差し引いて算出。

(2) 30米穀年度における加工原材料用米穀の使用状況（推計）

- 清酒、米菓、米穀粉などの原料として使用される米穀の平成30米穀年度における使用量は、焼酎、包装もちの出荷量の減少等により、前年から微減の約96万トン（推計）。
- 種類別には、うるち米が約77万トン、もち米が約19万トン。制度別には、主食用米、加工用米及び特定米穀などの国産米が約7割。残りの約3割はMA米及び輸入米粉調製品の外国産米。
- 米菓を中心に特定米穀及び輸入米粉調製品の使用量が増加。

<うるち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	11 (9)	9		4			24 (9)
米菓用	1	1		5	5	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	5	6					11
味噌用		1		2	7		10
焼酎用 (泡盛含む)		2		3	2		7
米穀粉用		1	3	1	2	1	8
その他用	1	2		1	1		4
合計	18	21	3	16	16	3	77

<もち米>

（単位：万玄米トン）

制度 用途	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	2	3				1	7
米菓用	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	1						1
その他用						1	2
合計	6	6		1	1	5	19

- 注1： 清酒用の（ ）書きは、酒造好適米で内数。
 2： 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米約9万トンを含んでいない。
 3： 焼酎は単式蒸留しょうちゅう（穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの（酒税法第3条第10号））であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。
 4： その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。
 5： 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用されるふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。
 6： ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

【推計根拠】

- 用途別の原料米使用量合計は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
 清酒用・・・「清酒の製造状況等について」（国税庁）
 焼酎用・・・「課税移出数量」（国税庁）
 米菓用、米穀粉用、加工米飯用、味噌用、包装もち用、その他用・・・「食品産業動態調査」（農林水産省）による生産量等
- 制度別の使用状況は、加工団体等からの聞き取りのほか、以下のデータにより推計。
 主食用米・・・全国出荷団体等からの聞き取り。なお、酒造好適米は「酒造好適米の需要量調査」（農林水産省）等に基づく推計
 加工用米・・・「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」（農林水産省）に基づく報告
 新規需要米（米粉用米）・・・「米粉をめぐる状況について」（農林水産省）による利用量
 MA米（SBS含む）・・・「販売実績」（農林水産省）
 輸入米粉調製品・・・「貿易統計」（財務省）
 特定米穀・・・1で推計した用途別原料米使用量から主食用米、加工用米、新規需要米（米粉用米）、MA米及び輸入米粉調製品を差し引いた数量

(3) 加工原材料用米穀の使用状況（推計）の推移

＜うるち米＞ (単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	うるち米計
清酒用	26	11 (8)	9		4			24 (8)
	27	12 (9)	10		3			25 (9)
	28	13 (10)	9		3			25 (10)
	29	12 (10)	9		3			24 (10)
	30	11 (9)	9		4			24 (9)
米菓用	26	1	1		5	3	2	12
	27	1	2		7	2	1	13
	28	1	2		6	3	1	12
	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26	5	5					10
	27	5	5					10
	28	5	5					10
	29	5	5					11
	30	5	6					11
味噌用	26		1		3	6		10
	27		1		7	1		9
	28		1		6	2		9
	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
焼酎用 (泡盛含む)	26				6	3		9
	27		1		5	2		8
	28		2		4	2		8
	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
米穀粉用	26		1	3	1	2	1	8
	27		1	2	2	2	1	8
	28		1	2	1	3	1	8
	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
その他用	26	1			2	1		4
	27	1			2	1		4
	28	1	1		2	1		4
	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
合計	26	18	18	3	21	14	3	77
	27	18	22	2	24	9	2	77
	28	20	21	2	21	11	1	77
	29	19	22	2	15	18	2	78
	30	18	21	3	16	16	3	77

＜もち米＞ (単位: 万玄米トン)

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉調製品	もち米計
包装もち用	26	3	1			1	2	7
	27	3	2				2	7
	28	3	2				2	8
	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
米菓用	26	2	1			1	2	6
	27	2	1		1	1	2	6
	28	1	2		1	1	1	6
	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
米穀粉用	26	1						3
	27	1					1	3
	28	1	1				1	3
	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
加工米飯用 (無菌包装米飯除く)	26							1
	27	1						1
	28	1						1
	29	1						1
	30	1						1
その他用	26						2	2
	27						1	2
	28						1	2
	29						1	2
	30						1	2
合計	26	7	3		1	2	7	19
	27	7	4		1	1	6	19
	28	6	5		1	2	5	19
	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19

注1: 清酒用の()書きは、酒造好適米で内数。

2: 加工米飯用は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。

3: 焼酎は単式蒸留しょうちゅう(穀類又はいも類、これらの麴等及び水を原料として発酵させたアルコール含有物を単式蒸留機により蒸留したアルコール度数が45度以下のもの(酒税法第3条第10号))であり、泡盛用として使用される原料米を含んでいる。

4: その他用には、玄米茶用、みりん用、朝食シリアル用などがある。

5: 特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米(一般的に「くず米」と呼ばれているもの)の総称。

6: ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 酒造好適米の需給状況

(1) 日本酒の出荷状況

- 日本酒の国内出荷量は、ピーク時（昭和48年）には170万klを超えていたが、他のアルコール飲料との競合などにより、近年は50万klを下回る水準まで減少。
- 消費者の志向が量から質へと変化していることから、国内出荷量全体に占める特定名称酒（吟醸酒、純米酒等）の割合は増加傾向で推移。
- また、輸出については、日本食ブーム等を背景に近年増加傾向で推移。ただし、令和元年の輸出量は減少に転じており、今後の動向に注視が必要。

日本酒の国内出荷量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	対前年比 元/30年
日本酒国内出荷量	1,133	871	659	580	566	555	540	533	495	467	94%
特定名称酒	291	221	174	164	167	173	178	179	171	165	96%
吟醸酒	34	30	20	21	24	25	24	24	23	22	96%
純米吟醸酒	25	26	24	29	32	37	42	45	45	45	100%
純米酒	62	54	57	58	59	62	65	67	64	62	97%
本醸造酒	169	111	73	56	52	49	46	43	38	35	92%

資料：日本酒造組合中央会調べ。年は暦年。

注1：清酒は、一般酒のほか、原料米及び製造方法などの諸条件（原料、精米歩留）により、吟醸酒、純米酒等8種類に分類され、これらを総称して「特定名称酒」という。

2：国内出荷量には輸出量は含まれていない。

日本酒の輸出量の推移

(千kl)

	10年	15年	20年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	対前年比 元/30年
日本酒輸出量	8	8	12	16	16	18	20	23	26	25	97%
アメリカ合衆国	1	2	4	4	4	5	5	6	6	6	108%
中華人民共和国	0	0	0	1	1	2	2	3	4	5	124%
大韓民国	0	0	2	4	3	3	4	5	5	3	54%
台湾	4	2	2	2	2	2	2	2	2	2	100%
香港	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	92%
その他	2	2	3	4	4	5	5	6	6	6	105%

資料：「貿易統計」（財務省）。年は暦年。

(2) 日本酒原料米の使用状況

- 日本酒の原料米は、一般的に流通している米のほか、酒造りのために作られた特別な米である山田錦、五百万石などの「酒造好適米」が使用されている。
- 日本酒原料米の使用量は、近年、製品当たりの米の使用量が多い特定名称酒が増加していたため、24~25万トン程度で推移していたが、平成30年産は、特定名称酒も減少に転じたこと等から約23万トン（対前年比▲5%）に減少しており、今後の動向に注視が必要。

日本酒原料米の使用状況

(千トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	対前年比 30/29年
日本酒原料米	405	315	261	243	248	251	241	240	227	95%
酒造好適米	99	75	77	76	90	99	97	94	88	94%
加工用米	86	89	74	95	105	94	93	88	90	102%
その他	220	151	110	72	53	58	51	58	49	85%

資料：農林水産省による推計値。

(3) 酒造好適米の生産量

- 酒造好適米の生産量（農産物検査数量）については、平成26年産主食用米（うるち米）の取引価格の大幅下落等により、酒造好適米の生産へシフトしたこと等から、平成27年産において、需要を上回る生産量となった。
- 平成28年産以降は減少傾向にあるが、最近の日本酒出荷量の急減に伴い、酒造好適米の需要量も減少傾向にあり、供給過剰が続いている状況。

酒造好適米の生産量（農産物検査数量）の推移

(トン)

	10年産	15年産	20年産	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産	30年産	元年産	
											対30年産比
酒造好適米	99,448	74,854	76,788	75,813	90,185	108,797	106,618	102,400	95,856	96,722	100.9%
山田錦	24,639	22,853	21,399	23,081	29,812	39,528	37,257	38,431	33,916	34,631	102.1%
五百万石	33,282	23,169	24,186	20,602	22,596	27,078	26,030	20,564	21,203	19,588	92.4%
美山錦	11,304	7,487	7,016	6,426	7,786	7,838	7,513	7,018	6,408	6,475	101.1%
雄町	2,502	1,827	1,780	1,700	2,312	2,886	2,481	2,873	2,723	2,932	107.7%
その他	27,721	19,518	22,407	24,004	27,679	31,467	33,337	33,514	31,607	33,096	104.7%

資料：「農産物検査結果」（農林水産省）

注：元年産は、令和2年3月31日現在の速報値を直近3カ年の3月31日現在の農産物検査の進捗率により確定値見合いに推計したもの。

(4) 酒造好適米の需要量

- 令和元年7月に実施した需要量調査によると、酒造好適米の需要量については、令和元年産は88～90千トン程度、令和2年産は87～89千トン程度と見込まれている。

(参考) 令和元年度 酒造好適米等の需要量調査の概要

- 日本酒の全酒造メーカー（1,430社）を対象として、令和元年7月に酒造好適米等の購入実績及び将来の購入見込数量を調査。763社から回答があり、回答率は数量ベースの回答率は約82～84%と推計される。

酒造好適米等の需要量調査結果

(トン)

	29年産	30年産		元年産		2年産	
			対29年産比		対29年産比		対29年産比
酒造好適米の需要量調査結果(実数)	77,719	72,905	93.8%	73,354	94.4%	73,013	93.9%
山田錦	32,148	28,682	89.2%	29,485	91.7%	29,044	90.3%
五百万石	16,191	15,365	94.9%	14,462	89.3%	14,403	89.0%
美山錦	5,058	4,734	93.6%	4,453	88.0%	4,406	87.1%
雄町	1,711	1,546	90.4%	1,560	91.2%	1,619	94.7%
その他	22,611	22,577	99.8%	23,395	103.5%	23,540	104.1%
酒造好適米の全体需要量(推計)	93～95千トン	87～89千トン		88～90千トン		87～89千トン	

資料：「令和元年度 酒造好適米等の需要量調査結果」（農林水産省）

注1：「酒造好適米の需要量調査結果(実数)」は、令和元年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量の積み上げの実数。

注2：「酒造好適米の全体需要量(推計)」は、令和元年度酒造好適米等の需要量調査において回答のあった酒造メーカーの需要量が全体需要量の約82～84%と推計されるため、今回調査した各年産の需要量を当該割合で除することにより推計。

産地銘柄毎の需要量等の酒造好適米に関する詳細な情報は、以下URLの「日本酒をめぐる状況」及び「酒造好適米等の需要量調査結果等」を参照ください。

URL：http://www.maff.go.jp/j/seisaku_tokatu/kikaku/sake.html

別冊「資料編」では、より詳細な情報をご覧いただけます。

－ 別冊「資料編」の目次 －

I 米の需給

- 1 主食用米等の需給見通し(米の基本指針(令和2年7月30日)) 需給 1

II 米の在庫情報

- 1 平成30・令和元年産の産地別民間在庫の推移(うるち米)(速報) 在庫 1 Excel

III 米の契約・販売情報

- 1 産地別事前契約数量(累計、うるち米、平成26～29年産) 契約 1 Excel
 2 平成29・30年産米の産地別契約・販売状況(累計、うるち米)(速報) 契約 3 Excel
 3 備蓄米の買入入札の結果(落札実績)(平成23年産～令和2年産) 契約 15

IV 米の価格情報

- 1 米の相対取引価格の推移(通年平均価格) 価格 1 Excel
 2 米の現物市場の状況 価格 4

V 支援事業等

- (1) 水田活用の直接支払交付金 支援 1
 (2) 畑作物の直接支払交付金(ゲタ対策) 支援 6
 (3) 米・畑作物の収入減少影響緩和交付金(ナラシ対策) 支援 8
 (4) 収入保険 支援 10
 (5) 主食用米の需給安定の考え方、米穀周年供給・需要拡大支援事業 支援 12
 (6) コメ海外市場拡大戦略プロジェクト 支援 14

VI その他

- (1) 水稻うるち玄米の農産物検査結果 検査 1
 (2) 飼料用米の需要量 飼料 1
 (3) 麦・大豆の需要情報 麦 1
 ① 令和2年産麦の産地別銘柄別入札結果 大豆 1
 ② 令和元年産大豆の産地別銘柄別入札結果 野菜 1
 (4) 野菜等の需給情報 統計 1
 (5) 令和元年産水稻の収穫量 統計 6
 (6) 水稻作付面積及び収穫量等の年次別推移(全国) 統計 6
 (7) 水稻玄米のふり目幅別重量分布状況、
 10a 当たり収量及び収穫量(子実用)の年次別推移(全国) 統計 8
 (8) 年産・都道府県別主食用米の作付面積及び収穫量等の推移

農業者と農林水産省をつなぐ
新たなコミュニケーションツール

MAFFアプリ

農業に役立つ情報が直接届く。
現場の情報を直接届ける。








Android iOS

○米に関する各種情報は「米に関するメールマガジン」でも毎月発信中です。登録方法は下記URLを参照ください。
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>